令和7年度
「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
沖縄・動物系分野における有機的高専連携プログラム開発・実証事業

サービス・ラーニング実証報告書

令和 8 年 1 月

学校法人　KBC 学園

沖縄ペットワールド専門学校

本報告書は、文部科学省の専修学校による地域産業中核人材養成事業による委託事業として、学校法人KBC学園沖縄ペットワールド専門学校が実施した、令和7年度「沖縄・動物系分野における有機的高専連携プログラム開発・実証事業」の実証授業評価をとりまとめたものです。

はじめに

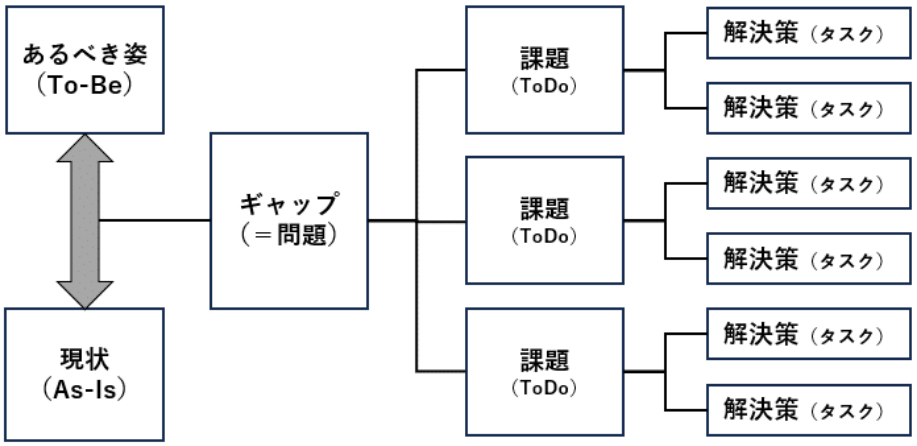
KBC サービス・ラーニングとは

サービス・ラーニング［service learning］とは、学生が地域社会の課題を解決するために、学校で学んだ知識や技能を社会活動やボランティア活動を通じて実践する教育活動です。1980 年にアメリカで始まりました。学生が地域社会の課題解決に携わることで、市民としての責任や役割を認識し、社会性を高めることを目的とし、日本では筑波大学、青山学院大学、国際基督教大学、日本福祉大学、立命館大学などで行っています。

専門的職業教育機関である専門学校の学生は、大学生と比較すると学んできた知識や技能がより専門的であるため、サービス・ラーニングの教育効果が高くなります。一方で、幅広い知見と問題解決力が必要となる企画力・発信力は大学生の方が得意といえます。

そこで、KBC 学園では、専門学校生が弱い企画力や発信力を育成する教育プログラムを用意しています。「事前学習」と「活動プランニング」で企画に必要な知識習得と実践を行い、「活動」で学生が持つ専門知識・技能の実践をします。活動後は、「体験の言語化」と「未来の活動への提案」を行います。

事前学習	知識	問題解決のプロセスと演習
	実践	プランニング活動
活動	実践	専門知識と技能の発揮活動
事後学習	知識	体験の言語化とディスカッションの意義
	実践	言語化・ディスカッション活動



1 こどもの国「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」

1.1 実施概要

日　時　令和7年 10 月 31 日　 17:00～21:00
実施者　動物飼育・ショップビジネス専攻2年生
人　数　25 名
対　象　18歳以下の障害を持つ子ども
内　容　①体験型工作
　　キーホルダーづくり
　　紙粘土マグネットづくり
　　ランタン
　②パズルラリー

1.2 「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」について



障がいのある子どもとその家族を閉園後の動物園に無料で招待し、楽しいひとときを提供する国際的な取り組みです。1996 年にオランダのロッテルダム動物園（ブライドープ動物園）が、がんを患っている 175 人の子どもたちと家族を招待したことから始まりました。2000 年からはアムステルダム動物園をはじめとするオランダ国内の動物園にも広がり始め、2002 年にはデンマークやベルギーなど国外の動物園でも開催されるようになりました。

重い病気や障がいでなかなか外出できない子どもが気兼ねなく参加できる活動として次第に世界中に広がり、国際的なイベントに発展しています。日本でも 2005 年に横浜市のよこはま動物園ズーラシアがこの取り組みに初めて参加して以来、実施する動物園・水族館が年々増加しています。毎年６月の第 1 金曜日の夜を中心に各国で開催されますが、日本では梅雨にあたるため時期をずらして行われることが多いようです。

沖縄こどもの国では開園 55 周年を記念して、今年（2025 年）ドリームナイト・アット・ザ・ズーを開催しました。

参加対象は、18 才以下の障がいのあるお子様とそのご家族で、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保険福祉手帳または小児慢性特定疾病医療費医療受給者証をお持ちの方（申請中の方を含む）、特別支援学校・特別支援学級に通われている方です。


令和７年度沖縄こどもの国動物園創造局事業
開園55周年記念
沖縄こどもの国
Okinawa zoo & museum
Dream Night
at the ZOO 2025
2025年10月31日（金）　17:45～21:00
※最終入場 20:00まで
対象：18歳以下の障がいのあるお子さまとそのご家族
定員：先着200組1000名様（介助者様含む）
※詳細は裏面をご参照ください
事前申込制
Okinawa Zoo and Museum
公益財団法人沖縄こどもの国
公式 YouTube で沖縄こどもの国情報配信中!
〒9040021沖縄県沖縄市胡屋5-7-1
TEL:098-933-4190 Mail:info@okzm.jp
ホームページはこちら

1.3　サービス・ラーニング（どうぶつ広場企画）準備

1.3.1　学生の活動内容

　どうぶつ広場企画は、動物園水族館飼育員やショップスタッフを目指す「動物飼育ショップビジネス専攻」の正規授業の一環として、学生による主体的な活動の場にしたいと考えています。
　以下の活動ができることを教員と学生に伝えようと考えていますので、ご確認をしていただきたいと思います。

＜活動時期＞
　　動物愛護週間（9 月 20 日～26 日）の1日間または2日間
＜活動内容＞
　　動物愛護をテーマにした、どうぶつ広場の企画・運営

1.3.2　活動の運営について

①教員の活動への介入を極力なくし、学生が主体的に考え活動する時間にします。

②リーダー（代表）、サブリーダー（書記）、マネジャー（会計）の執行部3役を中心に運営します。

③また、R7年度の活動は文部科学省の予算を使うため以下の4つの条件を付けます。

企画書を作成すること
活動報告書を作成すること
会計報告書を作成すること
活動後に振返り会を行うこと

企画書例

2025 年　月　日

企画名	
企画趣旨・目的	①　解決すべき課題：社会的背景や現在わかっている課題 ②　目的を示す：あるべき姿
実施日（期間）	
実施場所	
ターゲット（対象）	企画のターゲットは細かく分ける 例）未就学児、小学校低学年、小学校中学年、子どもの親など
学びの成果目標（ゴール）	ターゲット毎に企画参加後の変化（成果目標）を明確にする 例）未就学児：モルモットが正しく触れる 例）小学校低学年：動物の特徴が正しく観察できる
学びの成果確認方法	成果目標毎に確認方法を考える 例）モルモットが正しく触れたらスタンプを押すなど 例）動物クイズで70点以上 ※知識はペーパーテストや口頭試問で測れる。実習は行動を観察して測る。
企画内容	第三者が読んでわかるように文章化する。わかりにくい場合は写真や絵で表す。
KGI(Key Goal Indicator) 達成する目標	数値化でき、目標数値を達成するために行動できるものを設定する。 例）参加人数、満足度など
KPI(Key Performance Indicator) KGI を達成するための活動方法と活動目標	目標参加人数を達成するために、 保幼に 1 回訪問して案内する SNS 用の案内動画を 2 本作成する 店にポスターを 3 枚貼る。レジ袋にチラシを入れる
必要経費概算	軽費概算見積りを立てる（会計）
活動時間見積り 一人当たり時間×人数で計算	活動時間見積を立てておき、実際に活動したのべ時間を記録し取りまとめる（サブリーダー）
企画代表・副代表	
会計責任者	
企画運営メンバー	
スケジュール	具体的なスケジュール計画を立てる
備考	

タイムスケジュール例(こどもの国)

01	活動内容とスケジュール概要説明、次回会議の予定(執行部選出と動物園調査)[顧問の先生]
02	執行部 3 役選出(リーダー(代表)とマネジャー(会計)は上級生、サブリーダー(書記)は下級生) 動物園調査報告会とまとめ 次回会議の予定[どうぶつひろば企画の目的(ゴール)別]
執	こどもの国にあいさつと現状確認、スケジュール確認
03	プランニング[あるべき姿(ゴール)を実現する企画の文書化] 次回会議の予定[活動企画の準備とスケジュール詳細]
執	こどもの国と企画のすり合わせ
04	プランニング[活動企画の決定とヒト・モノ・カネ・トキ(スケジュール)の決定] 次回会議の予定[協力団体との打合せ結果と対応策・準備など]
執	こどもの国と打合せ[活動企画のすり合わせ]
05	活動準備
06	活動準備・こどもの国との打合せ
07	活動リハーサル
08	活動準備・こどもの国との打合せ
09	活動準備・こどもの国との打合せ
	ボランティア活動当日
10	活動振り返り[活動評価とレポート作成説明] 次回報告会の予定[個人レポートの発表 5 分(個人の発見・新たな課題など)]
	活動報告会(こどもの国・顧問・学生他) [個人発表・執行部総括・こどもの国の評価]

参考

会議・準備 10 回×90 分＝15 時間
ボランティア活動　7.5 時間
活動報告会　2.5 時間
Web 学習時間 6 時間
合計 30 時間(1 単位相当)

1.3.3 KBC サービス・ラーニング（どうぶつ広場企画）覚書

日時：2025 年 5 月 14 日
場所：こどもの国
参加者：こどもの国（翁長さん、金尾さん）、KBC 学園（伊禮、広原）

説明）「動物飼育ショップビジネス専攻」の授業の一環として学生主体の活動にしたいと考えています。
金尾）承知しました。

説明）活動時期は、動物愛護週間（9 月 20 日～26 日）の1日間または2日間で考えています。
金尾）承知しました。

質問）どうぶつ広場だけでなく、昨年行ったクイズラリーのような企画など複数の企画を同時に実施してもよいでしょうか。
金尾）可能です。どうぶつ広場企画は現在も行っているので参考にしてください。HP に出ています。「みて、さわって、学ぼう」のコンセプトからかけ離れたものでない限り、学生さんの自由な発想で企画を立ててください。

質問）どうぶつ広場の施設の概要を教えてください。
金尾）一度に収容できる人数は 20 名程度です。日頃は職員が一人で説明やふれあい体験を行っています。
例えば、沖縄大学の学生さんは参加者が座れる机をいくつか用意して、一つのテーブルに学生さんがついて 30 分おきに交替するなどの方法でふれあい体験をされています。

金尾）体験実費を 500 円程度いただいてやっていますが、KBC さんにお支払いする人件費や交通費のようなものは発生しますか？
質問）いいえ発生しません。逆にお金をいただくことはできませんのでよろしくおねがいします。

質問）今後の大まかなスケジュール感を教えてください。
金尾）動物愛護週間の PR をイベント情報として行います。入稿の締め切りが 7 月 28 日で「タイトル」「日時」「内容」「参加人数」などが必要です。これから逆算すると、6 月末までにはおおまかな企画を上げていただき 7 月中に詰めていくスケジュールになります。

質問）学生が主導で運営をしますので、今後の連絡などは学生にさせていただいてもよいでしょうか。
金尾）承知しました。企画の内容や進捗など情報を共有したいと思いますので、チームスやグーグルドライブを立ち上げていただき、情報共有をさせてください。

質問）金尾さまにはどうやって連絡をさせていただいたらよいでしょうか。
金尾）事務所にいることより園内や外出をしていることが多いので、基本的にメールでお願いします。

質問）企画終了後、報告会を開催する予定です。是非参加していただき総評をお願いしたいのですが。
金尾）承知しました。

1.4　サービス・ラーニング打合せ

活動報告書（日誌）

日時・記録者	2025 年 8 月 19 日　　14:00～　　記録者（神山）
会議形式・場所	リモート会議　　601 教室
参加者	沖縄こどもの国　金尾由恵様 ペット　飼育 2 年（髙木宙、弓指朝）、神山麻輝
活動内容	
議事の記録 連絡事項、打ち合わせ内容、決定事項	日程の確認 　当初の予定では 9 月 21 日でしたが、学生が夏休み中とのこともあり準備を行うことが難しく日程の調整を行う。 　様々な日を検討したが 10 月 31 日のドリームナイト・アットザズーにてイベントを行うことになった。 　※ドリームナイト・アットザズー 　　障害を持つ方がジブラルタ生命の企画により無料で動物園や水族館に入園できるというもの 内容の確認 　事前に学生が考えた 　　・モールでキーホルダー 　・紙粘土マグネット 　・パズルラリー 　　・ランタン 　上記の 4 つを提案
判明した課題	
次回の日時と内容	
備考	

活動報告書(日誌)

日時・記録者	2025 年 9 月 29 日　　14:30～　　記録者(神山)
会議形式・場所	リモート会議　　701 教室
参加者	沖縄こどもの国　金尾由恵様 ペット　飼育 2 年(幸喜麻央、髙木宙、又吉聖楽、弓指朝)、神山麻輝
活動内容	
議事の記録 連絡事項、打ち合わせ内容、決定事項	ドリームナイト・アットザズーのみのイベント参加 時間:17:45～21:00 昨年の参加人数は親子合わせて 800 名程度(こども 400～500 名) 今年の人数が確定次第、金尾さんより連絡をいただく(締め切りは 10 月 27 日) 体験型工作の内容確認 ・モールでキーホルダー ・紙粘土マグネット ・パズルラリー →使用するクイズは全て事前にこどもの国へ確認 ・ランタン ※ハサミやグルーガンの使用は安全上人が必ずつく 開催場所 入口入ってすぐの広場 テント、テーブルはこどもの国より貸し出しを行い、配置については本校が決める
判明した課題	
次回の日時と内容	
備考	

1.5 企画書

企画名	ドリームナイト･アット･ザ･ズー2025
企画趣旨･目的	障がいのある子どもとその家族を閉園後の動物園に無料で招待し、楽しいひとときを提供する取り組みに参加し、動物と親しむための知識や来園の思い出づくりを提供します。 障がいのある子どもたちとのコミュニケーションスキルアップや安全への心配りを行い、安全にイベントが終了することを目指します。
実施日(期間)	2025 年 10 月 31 日 17:00～21:00
実施場所	沖縄こどもの国
対象	障がいを持つ子どもと保護者･介助者　1100 人
企画の成果目標(ゴール)	一連の活動を通じて来園者や運営側に事故がないこと
成果確認方法	事故の有無
企画内容	･モールでキーホルダー　50 名分 ･紙粘土マグネット　50 名分 ･パズルラリー　110 名分 ･ランタン　50 名分
KGI(Key Goal Indicator) 達成する数値目標	設定なし
KPI(Key Performance Indicator) KGI を達成するための営業方法と目標数	設定なし
必要経費概算	企画材料費:　30,000 円 当日マイクロバスレンタル代:　34,000 円
活動のべ時間見積り (人数×時間)	企画･準備のべ時間　25 名×18 時間　450 時間 企画当日のべ時間　24 名×4 時間　48 時間 振返り総括のべ時間　24 名×1 時間　24 時間 報告会　6 名×1 時間　6 時間 合計　528 時間 沖縄最低賃金 1,023 円で換算すると 540,144 円
企画代表	
会計責任者	
企画運営メンバー	
スケジュール	
備考	

1.6　当日の様子




17:10
設営準備の様子




17:30 開園
準備した席に次々と子ども達が着席
突然大雨が降り出しました




日没後、動物園は一気に暗闇に包まれました
ライオン舎の前のパズルラリー



ライトで照らしながらクイズを出していきます



園内のイルミネーションも見どころです



受付を案内地図の横に移動しました







この日はハロウィン。仮装をしている子どももいて、ナイト・ズーを楽しんでいました。

1.7　個人ふり返り

1.7.1　質問 「良かった点・特に印象に残ったこと」

子ども達ができあがったランタンを受け取って笑顔になっていたこと
--
子ども達ひとりひとりに対してしっかりと対応できた。
--
イベントを楽しんでもらえた点
--
お客様がとても喜んでくれた！
ねんどをこねる作業が難しいかと思ったが、子ども達が途中で止めることなく作り続けてくれたことが印象的。
--
ランタンがなくなって、こどもの国をまわった時に子どもが持ってたランタンが思ったよりハロウィンっぽくてかわいかった。また、子どもがうれしそうにもらってくれた事がよかった。
--
受付をしてスムーズに案内することができた。
--
たくさんの子ども達に楽しんでもらうことが出来たと、完成したパズルをもって帰る子ども達を見て思いました。
--
思ったより子ども達に人気でやって良かったと感じました。
--
生き生きと自由に絵をかいてくれてうれしかった。
--
参加してくれた子どもが工作、クイズと4種類もあったが楽しんでやってくれたのでよかった。自分はモールの方をやったが、難しくて参加してくれる人は少ないと思ったが、席がうまってスタッフの手が足りなくなるほど忙しくて大変さもあったが、ちゃんと準備した分、発揮できたのでよかったです。
--
その場の状況に応じて臨機応変に対応することができた。
子どもだけじゃなく大人も笑顔になってくれた
--
普段関わることがない方々と交流することができたこと
--
みんな楽しそうにしてくれていたので気持ちも上がっていた
--
予想以上にお客さんが入ってきてくれてとても良かったです。子ども達が楽しそうに制作をしていて準備してきた甲斐がありました。
--
子ども達が嬉々ととして話しを聞いてくれたり、ありがとうございます！と手を振ってくれたりしたところ。
--
1回目だった為、どんな事をするとよいかを一から考える力が身についた。子ども達が想像しているものをその通りに作ることができた。
--
子ども達はもちろんのこと、一緒に来園していた親もなるほどなーと関心を持ってくれていたこと。

--
クイズを全問正解しているお客さんがいたので、動物が好きなんだと感じて嬉しくなりました。
問題の解説を真剣に聞いてくださってる方が大勢いた。
--
ボランティアスタッフとしてでなく、夜の動物園のというなかなかない機会で客目線としても楽しめた。
お客さんに楽しんでいただけることが何よりのモチベーションになった。
--
良かった点は、参加してくれた子どもたちが完成したパズルをうれしそうに持って帰ってくれたのは良かったなと思いました。
--
想定していたよりも子ども達の参加人数が多く、純粋にクイズやワークショップを楽しんでくれていたのがとてもよかった。
--
パズルラリーが終わった子が完成したのを見せてくれてかわいかった。夜の動物園はきれいだった。
--
1対1で対応をして、もう一人は在庫出したりする方法をとったので、やりやすかったのが良かったと思います。印象に残った点は自分が作った壁紙を多くの子ども達が作ってくれているところを見て作ってよかったと思ったことです。

1.7.2　質問「反省点」

現場に着いたときの会場設営を事前に話し合っていなかった。
看板が小さくて何をしているのかがわからない
--
子ども達が欲しいものが足りず騒いでいる子がいた
--
園のほうから借りられるテントの大きさだったり、机、いす、など完全に把握できていなかったので、雨が降った際に濡れたり、通路の確保ができていないなど改善の余地があった
--
雨対策ができておらず、子ども達が濡れてしまった。
--
急に雨が降ってきたとき、お客さんがテントの中に入ってなくてごたごたした所。
机にペンがついてしまった事。小さいランタン用の半紙が準備してたのにどっかにいってしまったこと。
--
子どもたちとのコミュニケーションを取るのが難しかった。
--
パズルラリーの計画では、一人がクイズ、もう一人がパズルのピースを渡す予定でしたが、人が一斉に来たときにさばくのに時間がかかってしまった。
--
下準備が足りなかった。
--
少し時間がかかってしまい保護者の方があせってしまっていた。
--
ボランティアまでの諸々の準備がギリギリだったこと。
こどもの国との連絡がギリギリで聞いていたりしたのでクイズの内容だったり場所の報告などが遅くなってしまったのが反省点です。
雨が降ったときの対策が出来ていなかった。
--
計画を立てる段階で色々な問題が起きたこと
小さなミスを何回かしてしまった。
--
作業スペースがせまかった。
テントがせまく雨でぬれてしまった。
回転率が悪かった
--
作る作業が長く、列ができたり一人で3人を対応するのは大変でした。また、ナイトズーも時間が限られているので全部回れるか不安でした。
--
体験の説明がうまくできずに、はにかんでしまって伝えることができませんでした。友人に助けてもらうことが多かったです。
--
通路の途中に立っていたので順路の邪魔になってしまったこと。
雨の対策をしていなかったこと
--
テントが一張りだったため、雨がふってきた時に対応するのが大変だった。次からは二張りは必要だと思う。親御さんへの会話をしつつ、粘土が手にくっついて汚れていないかの気配りをもっとしたかった。

--
夜だったこともあり、なにかと暗くて見えずらいなと感じた。
--
東ゲートから入ってきたお客さんが多くいて、そもそも台紙を持っていない方が多かった。
--
正面入口にのみ受付を設置していたため、裏口から入園したお客さんが体験できないという場面がいくつかあった。
配布していたパーツの欠品が早かった。
--
場所がわからなくて、完成できなかったと言われることがちょこちょこあったので、もっと地図を分かりやすくしたり、立つ位置をみんながわかりやすいところでもよかったかなと思いました。
--
どうしても当日にならないと分からない、机の配置できる環境や設備の運び出しなどが準備の際もたついてしまったのが当日の反省点。また、実行委員としてはイベントの詳細についての連絡の取り合いが遅れてしまったのでそこを改善できなかったので心残り。
--
最初受付の場所が暗くて分かりにくかった。同じ日にスタンプラリーという似たイベントがあってお客さんが困惑していた。
--
混雑時の対応の仕方。
看板作成の際の先着〇〇名様限定の未提示。
必要品の取り出しにくさ（ランタンの本体）
下敷きを持ってくるべきだった（机についた）

1.7.3　質問「改善点」

納得するまで事前に話し合う。
何をしているのか一目で分かる看板をつくる
--
作成したものは思っている以上に作ると良いと思った。
--
子どもの対応の仕方の勉強
事前準備や会場設営のときにごたついたので前もって決めておけばよかった。
--
事前にテントの大きさ、机の大きさを確認する
--
雨が降った時の事を考えた机の並べ方とペンと使うから新聞紙をひいておけば良かった。
--
子どものとのふれあいを増やす。
--
一人増やすか、机が必要でした。
--
本番の時のイメージをよりする。
--
事前におよその所要時間を伝える。
席を立たずに完成させられるように近くに必要なものを置いておく。
--
実行委員でこどもの国とのズームミーティングがあったのですが、思ったよりズームミーティングがとれなかったのが残念でした。
もっと頻繁に連絡を取り合えば、あと1～2回ぐらいはズームミーティングができたのではと思った。
--
人気なパーツが少なすぎたので、もう少し増やす
動物の解説の内容をもっと濃くする
--
テントを増やし、場所を広くする
一人1個などつくる個数を制限する。
--
もっと早く作れるもの、ジャンルは2～3個が良い。
作業場を広くする（皆で休憩を回せる）
回転率の悪いものはそんなに買わないでよい
--
3の体験の場所を1カ所にした影響によりすごく混雑してしまったので、3カ所にわけた方が良いと思いました。
--
リハーサルや事前訪問など、一度ひと通り通しておいたほうがいい。ぶっつけ本番だとあせりがちになる。
--
場所がワンダーミュージアムの近くで音が鳴るとそれに反応するというものがあり、その音にびっくりする子ども達が多くいたため、不向きだったと思う。
--
ライトの量を増やす。文字は明るい色で書くなど、暗さに配慮するべき
--

東ゲートの近くで待機する人達はあらかじめ台紙を持っている方がいい
--
正面だけでなく裏口にも受付の設置、あるいは各所のスタッフにも用紙を持たせ、都度配布する事で皆が楽しめるようにする
少ないパーツ、多いパーツの差があったので、均等に作成するべきだった。
--
地図やクイズをやっている場所を分かりやすくする。
メインゲートと東ゲートがあるので東ゲートにも一人受付の人がいても良かったかなと思う。
--
イベントの1ヵ月前にはだいたいの内容・必要な物はリストアップしておく。
メールでの連絡だけでなく、ズームでのミーティングももっと行う。
--
途中から地図の横に移動したので受付が分かりやすくなってよかった。ほかに別の団体がどんなイベントをやるのかも考えて企画する。
--
前もって混雑した場合の打合せ、また、対策の提示
必要品は下ではなく上の方に置いていた方が良い。
マッキーがつくことを考えての対策が出ていなかった（下敷きの必要性を考えればよかった）
--

1.7.4　質問 「準備段階について感じたこと」

やることが決まってから動き始めるのが遅かった
--
作成に時間をとられすぎて到着してからの動きがグダグダだった
--
イベントの案を出す中で、どんなことをしたら楽しめるのか、学べるのかを考えるのは難しかった。また障がいのある子を対象としているのでどこまでなにができているかがわからないのも難しかった。
--
もっと冷静に頭を使って話し合おう。
--
本番の前日の夜まで準備が終わらなくて、空いた時間を有効活用できていなかった。
--
準備が全然出来ていなくて本番に間に合うかあせった。
--
間に合うかに集中しすぎており、現場での計画があまり練れてなかった。
--
時間の使い方が下手くそ
--
準備段階で一度シミュレーションをしておくべきだった。
--
どのくらいの数を用意したらよいかが分からず、少なかったり、多かったりなど、予算をオーバーしてしまったのがちゃんと計算できず、実行委員として管理不足だった。
--
時間が足りなかった
--
実行委員がすごく大変そうだった
--
予習が出来ないので考えることが多かった。
--
私はねんどマグネットを担当しました。準備に取り掛かるのが遅く、慌てながらねんどの型抜きをしてしまいました。
--
もっと話し合いをするべき。話し合いに参加させるべき。
自分たちが企画したこと以外の周りのことも配慮するべき。
--
試作を何回も重ね、その段階で浮き彫りとなった課題を解決しようと色々考えることができた。
--
準備を始めるのが遅かった。
--
動物についてのクイズを調べた際に自分自身も新しく知った知識がいくつかあったので勉強になりました。
--
直前（数日前）まで具体的な計画の目途が立っておらず、スタッフ間での情報共有ができていなかったため準備がギリギリだった。
モノの用意に必死で現地でどうするかが話し合えず、ぶっつけ本番だった。
--

買い出しの人ともっと情報を共有したほうが班のみんな納得したものが出来たんじゃないかと思った。
テーブルの配置とか椅子の個数もきめていたほうがよかったなと思った。
--
こどもの国の方々とメールでのやりとりやミーティングでイベント当日のスケジュールを話し合っていくのが貴重な体験だった。
--
ギリギリに動き出して足りない物が出てきた。
--
何が足りていないのか、数はあっているかなどの事前確認は大切だと思った。
天気をちゃんと調べておくことが良いと思った。

1.7.5 質問 「感想」

追い込まれて「こんなのもらって嬉しいかな？」とか思っていたけどたくさんの子ども達が喜んでくれて嬉しかった。
--
今回のボランティアはとても貴重な経験となり、今後にも生かせることができると思いました。
--
イベントを考えて実際に楽しんでもらえるか心配だったがお互いに楽しく取り組むことができた。
--
大好きな子ども達と同じ目線でクラフトができてとても楽しかったです。雨の中でも元気いっぱいでずっと笑顔でいれました。なかなか障がいをもった子どもたちと接する機会がなかったので良い経験ができました。
--
子ども相手の言葉づかいなどみんな出来てて、時間もあっという間でとても楽しかったです。でもランタンは途中で完売してなくなってしまったので、もうちょい準備しておけば良かったなと思いました。
夜のこどもの国に行くのは初めてで、たくさんは廻れなかったけど、いろいろ新鮮でライオンのうなり声がすごかった。
--
当日に大雨が降っていて見本のものが濡れたりして大変だった。
テントが狭くて移動が大変だった。
--
不安がありましたが、結果的にはうまくいったと感じました。
--
途中で雨が降ったりしてたのでテントは最低でも2つはほしかったなと思いました。
ランタン作りで子ども達が描く絵が全く予想できなくてボランティア側の自分も楽しめました。
--
普段あまり関わる機会のない、障がいを持った子どもたちと身近に関わることができて楽しかったし貴重な経験になった。
動物を見に行くより、こっちの3つの工作をまわって時間をつかってくれた男の子もいて、それほど楽しんでくれたのを知れてうれしかった。
--
思った以上の人数が参加してくれたことや楽しそうに工作してくれたこと、親子で話しながら作っているのを見て、ボランティアに参加できてよかったです。
夜の動物を見れたのも楽しかった。
夜の動物の姿が昼と違い、15分くらいだったけど見て回れたのでよかったです。
--
最初は成功するか不安だったし、ちゃんとできる自信がなかったけど、実際にやってみて小さなミスはあったけど、成功することができたのでよかったです。
--
当日は人が多く雨も降っていて大変だったけど貴重な経験ができた。
--
やってよかった
--
今回で様々なお客様を対応してそれぞれに合った対応や接し方を学ぶことができました。私も動物園就職希望なので、対応力やコミュニケーション能力を鍛えていきたいです。ボランティア参加をさせていただきありがとうございました。
--

子ども達が親と一緒になって考えたり、園内を見て回ったりするところがとても良かったし、その状態を自分たちがつくりあげたと思うとすごく嬉しかった。
もっと、このような機会をもうけてほしい。学生側としても臨機応変な対応、接客、企画のいい練習、勉強になる。
--
とても良い経験になり、これからも就職先のイベント等に生かせて行けそうだと感じた。私たちも子ども達も楽しめ学べる良い機会になりました。子ども達とお話しするのは楽しかったです。
今回はこのような機会を設けてくださり、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。
--
これからもイベントの計画など必ず行っていくことなので、学生の間にこのような体験ができたことが嬉しい。
--
今回のように企業さんとの合同でのボランティア活動、さらには大勢のお客さんを相手に何かをするという事が初めてだったので、緊張しましたが試行錯誤ありながらなんとか成功させることが出来たのでよかったです。
--
トラブルや不備も多く、不安になる事も多かったが、結果としてはお客さんに楽しんでいただけパズルラリーの用紙を全て配り終える事もでき、行列になる程の繁盛ぶりで成功に終わりよかった。楽しかった。
ナイトズーは、夜遅くまでの展示だったのでほぼ全ての動物がバックヤードにいるかと思っていたが、起きており動いている動物も多く普段はみれない光景が見られて良い経験になった。また、このような機会があれば客としてきたいと思う。
--
今回のボランティアでイベントの大変さと準備の大切さがわかりました。これから就職先でイベントはかならずつきものだと思うので、今回の反省や改善を就職先にもアニフェスにもいかしていきたいと思いました。
初めてイベントのボランティアとして大変だったけど、最後は成功したので良かったなと思いました。
--
数ヶ月前から実行委員として準備してきて紆余曲折ありながらも当日お客さまは自分たちの用意したブースで笑顔になっているのを見ることができてとても有意義なイベントにすることができたと思った。あの日参加した子ども達の記憶に残り続けるものを自分たちで用意できたと思うので、ここまで頑張ってきてよかったと嬉しく思います。
--
雨が降ってきて皆大変だったと思うけど、ケガとか事故もおきずに無事終えられてよかった。
遅い時間までボランティアをするのは初だったけど、お客さんが楽しんでくれてたし、夜の動物園も新鮮で面白かった。
--
お客様や子どもでもわかりやすく作りやすいランタンを、まずどのような形にするのかや、持ち手の工夫や半紙が足りなかった場合や時間がかかるかどうか、時間がかかる場合の最短にする方法を考え、形にするのが大変だと思った。
企画する上で大切な事は事前調査と仮説設定。
積極的なコミュニケーション
ユーザー中心視点と想像力
実行力と柔軟性

1.8　全体ふり返り総括

12 月 3 日(水)　14:00
Web ミーティングによるふり返り
参加者:こどもの国動物園創造局副主幹金尾様、ペットワールド専門学校学生　飼育 2 年(幸喜、髙木、又吉、弓指)、ペットワールド専門学校教員神山、KBC 学園伊禮

1.8.1 グッズ作りのふり返り

＜良かった点＞

〇実行委員としてペットの学生もだが、参加してくれた親とも一緒に仲良く作業してくれたことが嬉しかったし、難しい作業もあったんですけど、最後まで楽しんでくれたことが良かった点かなと思ってます。

〇クラスとしても物がなくなってもできますか？と声をかけてくれたのが、準備を頑張って良かったなと思いました。完成したものを笑顔で見せてもらえたのも嬉しかったです。

〇学生のふり返りとして一番多かったのは参加できて楽しかったという意見でした。

＜反省点＞

〇リハーサルをしなかったので、当日になってわかることが多くありました。テントの大きさだったりとか机の大きさなどの把握ができなかったので、混乱した部分がありました。また、雨の対策も考えていませんでした。

〇当日生命保険会社のボランティアさんで行っていたスタンプラリーのようなイベントがあり、来場された方が私たちのイベントと区別がつかないことがありました。総合受付場所やスランプラリーやクイズのポイントの場所がわからず、声をかけられることが多かったです。

〇工作にかかる時間を把握していなかったことが反省点の 3 つ目です。実際に工作をやってみると思った以上に時間がかかることがあり、親御さんが時間を気にされていて園内をまわる時間が少なくなったりしたのではないかと思うことがありました。

＜改善案＞

〇会場設営ではズームだけでなくて、事前に現地に行って確認をすることです。また、雨が降った時の対策として、余分にテントを借りておけば雨が降った時に来園者の方々に移動してもらう手間がもっと省けたのかなと思います。

〇他のボランティアさんとの区別がつかなかった点の改善案は、大きめの目立つ看板を設置していれば、来園者の方々が混乱することなく順路を進めたのかなと思いました。

〇時間の把握に関しては、事前に子供たちにだけじゃなく、親御さんの方にも所要時間と作業内容を説明していたら、園内を回る時間配分も保護者の方々が考えれたのかなと思いました。

1.8.2 パズルラリーのふり返り

＜感想＞

〇今回サービス・ラーニングをしてみて、総合的な私たちの所感としては、たいへん価値のある充実したイベントにできたと思っています。

＜反省点＞

〇反省点としては、自分たちの方では当日のイメージとか事前準備はしっかりとできていたんですが、いざ現場に立ってみると会場設備の設営に手間取って時間がかかってしまったり、いざお客様と接するまでかなり不安な気持ちのままこちらも迎えることになってしまったことが反省点です。

〇個人的な僕の反省点としては、こどもの国の金尾様と連絡をさせてもらうメール担当をしていたんですが、こちらの全体の意見がまとまらないまま、結構当日の一ヶ月前ぐらいぐらいまでかかってしまって、事前に少しずつ準備ができず、急に決めることをこちらから伝えてしまったのでもっと段取りを考えて取り組めばよかったと思っています。

1.8.3 沖縄こどもの国金尾様のふり返り

＜全体の感想＞

〇いろいろと伝達不足な点があり、迷惑をかけてしまったんじゃないかなと思いがあります。それが反省点です。結果的にイベントとしてはお客様みんな笑顔で帰られていたので、こちらにとってもこの不安だったこととか反省点も自分たちの糧になって、これからの将来の就職先でのイベント設定とかにつながっていくと思いますし、お客様にとっても自分たちでとっても有意義なイベントにできたのではないかなと総合的にはそう思っています。

＜学生の活動に関して＞

〇来園された皆さんからのアンケートでは、「ワークショップが楽しかった」という意見が今回は圧倒的に多かったです。ですので、本当にやってもらってよかったなと思っています。

　改善案については、私が気づいたことを皆さんがちゃんと考えて全部反省点として挙げてくれていたので特にないです。

＜今後の活動について＞

〇今後経験を積んでいく上で、次こうしないといけないなっていうのはどんどん出てくると思います。もし来年以降もこのようなイベントを企画していただけるとしたら、みなさんの後輩が担当されると思います。後輩たちがやってくとかなると、そこらへんの引き継ぎをうまくやってくれたらすごく助かります。

　今回、すごくいい感じのワークショップをしていただけたので本当に感謝しています。

1.8.4 神山先生のふり返り

＜全体の感想＞

〇ありがとうございました。後輩にしっかり引き継ぎを行っていきたいと思います。
私は、今回実施した学生のクラス担任をしているんですけれども、準備段階からずっと見守っていて不安だなっていうところ結構多くありました。というのも、今回の学生たちは、コロナ禍で大きなイベントをどんどん削られてきた世代で、みんなが協力して行うイベントを未経験のまま実施していたんですけど、当日の学生たちの対応を見ていて、あ、これだけできるんだなっという気づきを逆にもらえたなと思っています。

採用試験でもこれくらいやってくれないかなと思うぐらい上出来だなと思ってたので、すごく感心させられました。このイベントがあったからこそ、そういったことにも気づけたので、本当によかったと思っています。

こどもの国さんには、たくさんの臨機応変な対応をしていただいたことと、企画段階からコミュニケーションや接客のスキルとかも見せていただけたので、本当感謝しております。ありがとうございました。

1.8.5 地域創生室伊禮さんのふり返り

〇このたびはサービス・ラーニングにご協力いただきましてありがとうございました。子どもの国さんには、日頃から実習等で学生たちが大変お世話になっておりますので、やはり学生も少し慣れてきた感はありました。

当日は、パズルラリーの場所をまわってみたのですが、意外とその四カ所が探しきれなくて、そのあたりの案内の照明や、現場での照明なども真っ暗の中であることを考えて準備すべきだったかなあと思いました。

8 月から長い期間かけて最後の報告会までお付き合いいただきましてありがとうございました。また次年度以降もご協力いただければと存じます。

それから、こどもの国さんの方から、なんかこんなことやってほしいとかがあれば、ぜひ学校単位で動いていきたいと思いますので、何かございましたらご連絡していただけるごうれしいです。今後ともどうかよろしくお願いいたします。

２ 繁殖引退犬譲渡会

繁殖引退犬とは

　改正動物愛護法で 2024 年 6 月からスタッフ 1 人当たりの繁殖犬の頭数は 15 頭まで、犬の生涯出産回数は 6 回まで、交配できる年齢は 6 歳までになりました。
これにより、6 歳を超えたまたは出産 6 回を超えた繁殖犬の飼養先不足が社会問題化しています。沖縄でも譲渡会が行われていますがその数は少なく、九州などに引退犬を送っているのが現状です。全国では 10 万頭近くいると言われており、動物福祉の観点から見過ごすことができない問題です。

実施概要（令和7年12月末時点）

＜第一回目＞

日　時　令和7年 11 月 23 日
実施責任者　代表伊佐、副代表：城間 2 名
運営人数 5 名
場所　ペットショップオーシャン
対　象　繁殖引退犬の里親
内　容　①繁殖引退犬健康チェック
②譲渡会場の清潔を保つ
③里親候補に対する給餌方法、日頃のお手入れ、犬種毎の疾患リスク、予防接種など適正飼養に必要な情報提供

＜第二回目＞

日　時　令和7年 12 月 14 日
実施責任者　代表伊佐、副代表：城間
運営人数 4 名
場所　ペットショップオーシャン
対　象　繁殖引退犬の里親
内　容　①担当者との打ち合わせ
②会場準備
③ペットショップオーシャンの見学
④シャンプー、爪切り、耳そうじ
⑤犬の管理（体調管理、排泄物処理）
⑥譲渡会見学者対応
⑦会場片付け

2.1 サービス・ラーニング（繁殖引退犬譲渡会企画）準備

2.1.1 ペットショップオーシャンとの打合せ

日時：2025 年 5 月 16 日
ペットショップオーシャン旧店舗2F

1 学生の活動内容について

説明）授業の一環ではなく、学生主導のサークルを立ち上げて活動してもらおうと考えています。
社長）承知しました。学生主導というのはとてもよい試みだと思います。

説明）大まかに以下のようなことができればよいと考えています。

＜ブリーダーさんから繁殖犬引き取り後＞
① 繁殖犬の手入れ（グルーミングやトリミング）【トータルペットケア専攻の学生】
学校で身に付けた技術や技能の実践を行う
② 健康チェック【トータルペットケアや動物看護専攻の学生】
学校で身に付けた技術や技能の実践を行う
③ 譲渡会案内（譲渡犬の PR）【動物飼育ショップビジネス専攻の学生など】
発生する問題をチームで解決する力を養う
＜譲渡会当日＞
④ 譲渡犬について里親さんへの個別説明サポート【全ての学生】
対人コミュニケーション力を養う
⑤ 譲渡成立後の飼養説明会（給餌、健康管理、しつけ方法などの説明）【全ての学生】
プレゼンテーション力を養う

社長）ここまでできると学生の取り組みとしては素晴らしいと思います。学生はボランティアやアルバイトでは得られない貴重な体験ができると思います。

質問）現在行われている譲渡会の流れを教えてください。
社長）
譲渡会は毎月第2、第4日曜日に行っています。案内は SNS や HP で行っています。
譲渡会当日ブリーダーさんがワクチン、避妊手術、グルーミング・トリミング済の犬を持参します。
だいたい1回の譲渡会で5頭くらい並びます。このうち少なくとも2頭は譲渡が決まります。
譲渡が決まったら、譲渡諸経費3～5万円を里親さんからいただきます。
里親が決まらなかった犬はブリーダーさんが持って帰り、次回の譲渡会に再度持参されます。

※内地に譲渡犬を送るブリーダーさんもいますが、里親が見つからなかったら内地から戻ってくるの
で労力や金銭面でなかなか大変だそうです。

　説明）運営を行う中で、学生が質問を行ったり調整をしたりすると思いますがよろしくおねがいします。
　社長）承知しました。ただ、私は出張が多いのでショップの担当者とのやりとりになるかも知れません。

　説明）1回の譲渡会終了後に振返りの時間を設け、プロの目から改善点やアドバイスをいただきたいと思っています。
　社長）承知しました。ショップの担当者に参加してもらいます。

＜調整、摺り合わせが必要なこと＞
　　犬を引き取ってもらって学校で譲渡犬の手入れを行うこともできます。
　　また、旧店舗の設備があるのでシャンプーやトリミングなどを旧店舗で行うこともできます。
　　学生が手入れをする場合、何日前に犬を持ってきてもらえばよいか決めてください。

　　犬の輸送方法や預かっている間の世話など細かいところを決めていきましょう。

＜社長が学生に体験してもらいたいこと＞
　短期間でグルーミングや健康状態チェックなどを行い犬の状態や特徴を的確に捉え、里親さんにわかりやすく説明できる力を身に付けてもらいたいです。また、「一頭の犬を譲渡まで自分が責任を持つ」ことは仕事をする上で大切なことなので是非経験をしてもらいたいです。

企画書例

2025 年　月　日
作成者：

企画名	繁殖引退犬譲渡会
企画趣旨・目的	役割を終えた繁殖犬の福祉と里親の適正飼養を促す
実施日（期間）	
実施場所	
ターゲット（対象）	繁殖犬の里親
企画の成果目標（ゴール）	譲渡後の適正飼養ができる
成果確認方法	譲渡説明会でペーパーテストを実施 譲渡会テスト 6 割以上正答
企画内容	①　譲渡犬のトリマー健康診断を実施 　トータル・看護師専攻によるグルーミング・健康カルテ作成 ②　譲渡会サポート 　健康状態、飼養方法、注意点の個別説明・対応 ③　譲渡（飼養）説明会での説明 　給餌、日頃のケア、健康管理、しつけなど
KGI(Key Goal Indicator) 達成する数値目標	譲渡会参加人数
KPI(Key Performance Indicator) KGI を達成するための営業方法と目標数	チラシ・ポスター SNS・マスコミ
必要経費概算	交通費： 打合せ往復 3000 円×3 人×3 回＝27000 円 当日往復 3000 円×5 人×1 回＝15000 円 印刷費： ボランティア保険：
活動のべ時間見積り （人数×時間）	企画立案・準備のべ時間 PR・営業のべ時間 トリミング・健康診断のべ時間 企画当日のべ時間 報告会・振返りのべ時間
企画代表	
会計責任者	
企画運営メンバー	
スケジュール	別紙
備考	

タイムスケジュール例（オーシャン）

想定される活動内容：企画・広報・シャンプー・トリミング・飼養講座・譲渡会ボランティア活動

＜初回＞

	学生ボランティアサークル募集ポスター掲示（3 週間）［顧問の先生］
01	既存の活動内容とスケジュール、次回会議の予定［執行部選出］
02	執行部 3 役選出（リーダー（代表）とマネジャー（会計）は上級生、サブリーダー（書記）は下級生） 次回会議の予定［役割を終えた繁殖犬の譲渡会とケアのあるべき姿（ゴール）］
執	オーシャンにあいさつとスケジュール確認
03	プランニング［あるべき姿（ゴール）に近づくための解決する課題を抽出］ 次回会議の予定［解決課題の決定と解決策（活動内容）］
04	**プランニング［譲渡会とケア企画］** 次回会議の予定［活動企画とスケジューリングの決定］
執	オーシャンとの打合せ［企画のすり合わせ］
05	プランニング［企画とヒト・モノ・カネ・トキ（スケジュール）の決定］ 次回会議の予定［オーシャンとの打合せ結果と対応策］
執	オーシャンとの打合せ［企画のすり合わせ］
06	活動［活動準備］
07	活動［活動準備］・オーシャンとの打合せ
	譲渡犬のケア実施・オーシャンとの打合せ
	譲渡会当日
08	活動振り返り［活動評価とレポート作成説明］ 次回報告会の予定［個人レポートの発表 5 分（個人の発見・新たな課題・改善点など）］
	活動報告会（オーシャン・顧問・学生他）［個人発表・執行部総括・オーシャンの評価］

＜2 回目以降＞

01	次回の譲渡会のゴールと内容（新しいチャレンジ） 次回会議の予定［活動企画とスケジューリングの決定］
	オーシャンにあいさつと次回スケジュール確認
02	**プランニング［企画とヒト・モノ・カネ・トキ（スケジュール）の決定］** 次回会議の予定［オーシャンとの打合せ結果と対応・活動準備］
	オーシャンとの打合せ［企画のすり合わせ］
03	活動準備
04	活動準備・オーシャンとの打合せ
	活動［譲渡犬のケア］・オーシャンとの打合せ
	譲渡会当日
	活動振り返り（オーシャン・顧問・学生他）［個人発表・執行部総括・オーシャンの評価・改善点］

2.1.2 ペットワールド専門学校との打合せ

日時：2025 年 5 月 21 日
ペット応接室
伊禮・儀間・名護・山川・広原

１ 5 月 16 日　ペットショップオーシャン金城社長との打合せ報告

２ 学生の活動内容について

① 繁殖犬の手入れ（グルーミングやトリミング）【トータルペットケア専攻の学生】
　　学校で身に付けた技術や技能の実践を行う
② 健康チェック【トータルペットケアや動物看護専攻の学生】
　　学校で身に付けた技術や技能の実践を行う
③ 譲渡会案内（譲渡犬の PR）【動物飼育ショップビジネス専攻の学生など】
　　発生する問題をチームで解決する力を養う
＜譲渡会当日＞
④ 譲渡犬について里親さんへの個別説明サポート【全ての学生】
　　対人コミュニケーション力を養う
⑤ 譲渡成立後の飼養説明会（給餌、健康管理、しつけ方法などの説明）【全ての学生】
　　プレゼンテーション力を養う

学生主導はいいことだと思う。ただし、活動に対するリスクマネジメントを確実に行わなければならない。

学生が損害を受けるリスク
　　移動や活動中の事故やケガ
　　病原体感染リスク
　　譲渡犬の咬傷事故
　　ハラスメント

学生が損害を与えるリスク
　　譲渡犬への傷害
　　設備・器具の損害
　　活動に関わった個人・団体情報の漏洩・無断公開
　　ハラスメント

３ 学生サークル募集時期、方法の打合せ

Save the breeding retired dogs!

繁殖引退犬譲渡

運営サークルメンバー募集

北中城のペットショップ「ペットクラブ　オーシャン」様から、『Pet の学生さんに繁殖引退犬の譲渡会を企画運営していただけないか』とご提案いただきました。そこで、学生のみなさんが「自分たちで考え、責任を持って活動する」ことを目指して、サークルを募集します。

この活動は、皆さんが学校で身につけた知識や技能を地域社会で生かし、皆さんも地域社会も成長することを目的とした「サービス・ラーニング」というプログラムです。社会人に必要なスキルが身につきます。

活動内容：譲渡会の PR、譲渡会開催、里親様へ犬の状態・飼養説明等

募集メンバー：Pet の学生であれば、<u>コースや学年は問いません</u>

応募方法：７月末までに儀間先生（顧問予定）に申し出てください

※サークル説明会の後、執行部（代表、書記、会計）を決めてもらい運営の中心になります。
※譲渡会は第２・４日曜日に開催予定。どの回に関わらせてもらうかはサークルで決めます。
※10 名以上メンバーが集まったら交替で担当することも可能です。
※知識・技能習得状況により活動内容が制限されることがあります。
※アルバイト代・食費は出ません。ただし交通費や経費は学校が負担します。
※運営サポート（送迎・物品購入など）は顧問の教職員（数名）が行います。

繁殖引退犬とは

改正動物愛護法で 2024 年６月からスタッフ１人当たりの繁殖犬の頭数は 15 頭まで、犬の生涯出産回数は６回まで、交配できる年齢は６歳までになりました。

これにより、６歳を超えたまたは出産６回を超えた繁殖犬の飼養先不足が社会問題化しています。沖縄でも譲渡会が行われていますがその数は少なく、九州などに引退犬を送っているのが現状です。全国では 10 万頭近くいると言われており、動物福祉の観点から見過ごすことができない問題です。



2.1.3 学生の活動内容

2.1.3.1　繁殖引退犬譲渡会　サークル　第一回目ミーティング

◩日時 2025.07.22（火）

◩メンバー自己紹介　（合計 16 名）
飼育 1 年生　：富盛　朝飛
トータル 1 年　：比嘉　音いろ、仲里　奏南
看護 1 年　：栄　愛音夢、岸本　愛華、新里　愛佳、池原　愛紗、金城　凛
看護 2 年　：赤嶺　ちひろ、伊佐　花里奈、植村　青澄、大城　優衣、城間　帆南、城間　理子、
　　豊見山　佳奈、平安　百音
議事録：儀間

◩趣旨説明
　伊禮さんより説明（課題含む）

◩執行部 3 役選出（リーダー（代表）、マネージャー（会計）、サブリーダー（書記））
　学生より立候補
看護 2 年　伊佐花里奈（リーダー）、豊見山佳奈（会計）、城間帆南、城間理子（書記）

◩今後どのようなことが必要か
　・まずは連絡が取れるように連絡先交換しよう（伊佐）
　・見学に行ってみては。（赤嶺）
　　８月の第二、第四日曜に見学可能ならまずは見て解決策を決める

◩次回会議日程
　・7 月 31 日（木）大掃除後
　　※8 月の見学日を決める
　　※学生でできることの案出し



儀間先生による自己紹介とリーダー選出時の司会



趣旨説明



リーダーによるミーティング進行

2.1.3.2 繁殖引退犬譲渡会 サークル 第二回目ミーティング

◩日時 2025.07.31(木)

◩参加メンバー:
トータル１年 :比嘉 音いろ、仲里 奏南
看護１年 :栄 愛音夢、岸本 愛華、新里 愛佳、池原 愛紗、金城 凛
看護２年 :赤嶺 ちひろ、伊佐 花里奈、植村 青澄、大城 優衣、城間 帆南、城間 理子、
豊見山 佳奈、平安 百音

不参加:飼育１年生 :富盛 朝飛

◩8 月 10 日(日)見学について
14:00 ごろ PET 出発 15:00 見学
参加希望者:8 人
PET 車に乗る人 6 名(あいか、あねむ、りん、そな、かりな、はんな)
学生車２台(ちひろ、ねいろ) オーシャン駐車場利用台数４台予定

◩譲渡会でやりたいこと
・わんちゃんのお手入れ(バイタルチェック) ・わんちゃんの紹介カード作成
・しつけ相談 ・パンフレット作成
・SNSの活用(PetのHPなど) ・案内や受付(1 年がやります)

◩見学時に確認したい事
・暑さ対策について ・わんちゃんがどれだけケアされているのか
・わんちゃんのトライアルなどあるのか(戻ってくることもあるのか、その対応)
・引き渡しの条件やブリーダーさんへの参加条件(動物の性格など)
・譲渡会に出す前にお手入れなどされているのか

◩次回のミーティングについて
夏休みに入るので、９月の時間割をみてリーダーと顧問が調整する
(見学時の情報共有や今後の活動、課題解決案について)

2.1.3.3　繁殖引退犬譲渡会　サークル　第三回目　ペットショップオーシャン見学会

◩日時 2025.08.10(日)15:00

◩参加者:8 人



旧店舗



新店舗と譲渡会テント



譲渡会の様子や会場環境の見学



会場


金城社長に質問



2.1.3.4　繁殖引退犬譲渡会　サークル　第四回目　11 月 28 日譲渡会 web ミーティング

◩日時 2025.011.6（金）16：30

◩参加者 6 名

＜譲渡会参加について＞
学生：11 月 28 日第四日曜日に開催される譲渡会に参加させていただきたいと思っています。可能でしょうか。

社長：大丈夫ですよ。何名いらっしゃいますか？

学生：多くて 8 人です。

社長：わかりました。通常 11 時から 16 時まで譲渡会を開催しています。先々週からこのワンちゃん達も来てますので、ちょうどいいタイミングじゃないかなと思ってますんで、是非いらしてください。

学生：ありがとうございます。

社長：何時頃こられますか？

学生：10 時頃にいかせていただいて、会場準備などのお手伝いをさせていただきたいと思っているんですが。

社長：わかりました。10 時から来てもらえば、周りの掃除とかそういうのを手伝ってもらって、それから譲渡会の準備をしていただければと思います。みなさんが手分けをしてやっていただけると早く終わりますし助かります。

学生：ありがとうございます。では 10 時には到着するようにします。

＜譲渡会で行う健康チェックやカルテについて＞
学生：譲渡犬の健康チェックとカルテの作成をさせていただきたいと思っています。
今、自分たちの学校で見てるワンちゃんの健康チェックの内容をそのまま同じような内容で書類を作りますので、それをブリーダーさんに来てもらって、ブリーダーさんに朝チェックしていただく形にしようかなと思ってるんですけどいかがでしょうか。

社長：ブリーダーさんも朝は忙しいんで、事前に預かって書いてもらう方がいいと思います。時間ギリギリ来るブリーダーもいるもんですから。
　健康チェックに関しては、健康なワンちゃんをブリーディングしていて、それを引退犬ということで、我々が預かって譲渡会を開いてますから、基本的に問題はないと思います。それと、体重は皆さんの方でやってもいいのかなと思いますが、どうですか？

学生：ブリーダーさんに書いてもらうのではなく、私たちにやらせていただけるということですか？

社長：そうですね。体重とかは測れば分かることなんで大丈夫だと思います。それから、健康チェックに必要な道具も持ってきて自分たちでやってもいいのかなと思いますよ。それで自分たちでチェックしていくのも勉強になっていいんじゃないかと思いますが、どうですか？

学生：カルテの記入までさせていただけるということでしょうか？

社長：そうです。カルテを持っていろいろ調べてみなさんが記入をするということです。性別は見ればわかりますし、誕生日とか年齢などわからない部分はブリーダーさんに聞いときます。便の状態っていうのは、緩いなどのワンちゃんは、譲渡会には持ってこれません。

伊禮：今、カルテを学生が作って持ってくっていう話になっていますが、もともとオーシャンの方で譲渡会でお使いのカルテがあるのでしょうか？

社長：うちの方で使っているはありますよ。でも、学生さんが日頃やってる健康管理帳みたいのがあれば持ってきていただいたり、自分たちで考えて作ったものを使ってもいいのかなと思っています。

伊禮：学生が作ったものを使わせていただいて問題はないですか？

社長：全然問題ないです。学生さんに作ってもらったほうがいいと思います。

学生：ありがとうございます。もともと今使ってらっしゃる健康チェックのものがあるっていう話だったので、23 日に参加させていただいたときに、その健康チェック表を見せていただいて、私たちが行っているチェックを比較させていただいて、次回以降でプラスしていくという形にしても大丈夫でしょうか？

社長：はい。全然大丈夫ですよ。

学生：ありがとうございます。

＜譲渡会の広告（ポスター・SNS）などについて＞

学生：ポスターに関してなんですが、私たちが、譲渡会の日時とか場所とか地図とかそういうものを入れたポスターを作って、ペットワールド専門学校のホームページとかオーシャンさんの sns などに掲載させていただきたいと思っていますが、オーシャンさんの店舗での掲示とかは可能でしょうか？

社長：全然問題ありません。可愛く綺麗なポスターを作ってもらえればと思います。二週間前にいただいて、入口の方に貼って譲渡会を開催してるということも伝えていいですよ。大丈夫です。

学生：ポスターに載せる内容などは今書いてる情報の通りでも大丈夫でしょうか。何か付け足すものとかがありましたら教えていただきたいです。

社長：そうですね。ポスターに乗せるモデル犬がどういう風になりますか？私のイメージでは、綺麗にした状態のモデル犬の写真などを撮って sns に乗っけて、この子の譲渡先を探した方がいいのかなと思ってたのですがどうですか？開催する日だけをポスターで打ち出してお客様を譲渡会に呼ぶという形を考えてますか？

学生：今ここに載ってるポスターは、そのポスターのデザインとして寂しくならないように、学校のワンちゃんの写真を載せています。もし、譲渡会に来てるワンちゃんたちの写真を撮っても大丈夫なのであれば、その写真をそこに載せたいなと思ってるんですけど。

社長：ああ、そういうことですね。わかりました。できたら、事前に、うちが写真を撮って送ることも可能だとは思いますが、ワンちゃんの譲渡の先を皆様で見つけてもいいのかなと思っていました。
　まあ最初はうちに来てもらって、雰囲気を見てもらってそれから、「このワンちゃんが今月の第一週に出ますよ」というものを作ってもいいのかなと思います。まあその辺は、みなさんの判断にお任せします。

　里親さんが見つからなかった譲渡犬の写真を撮って、このワンちゃんは第四週に出ますよとか第二週に出ますよというのを SNS などに上げて、それを犬を飼いたいお客さんが見た時に、あーこの子絶対見たいというような気持ちを持ってもらって、新しいお客さんをみつけるという譲渡の仕方を見つけてもいいのかなと思うのですけどいかがですか？

学生：ゆくゆくはそれいう活動も視野にいれています。今はまだスタートラインにやっと立った状態ですので、第一段階でこれをやりたいっていうような今すぐできそうなものの内容を軽くまとめています。譲渡会の回を重ねて自分たちも慣れてきてからSNSなどを活用してワンちゃんの情報も出していきたいなっていうふうに考えてます。

社長：是非よろしくおねがいします。まずは、皆様でどういった状態の譲渡会をしているかっていうのをしっかり見ていただいて、どんどんポスター作りをしたり SNS で宣伝してもう一回譲渡会に来たい、譲渡会に来てみたいというお客さんを増やすように努力してください。それに対する協力はしていきますのでどうかよろしくお願いします。

学生：ありがとうございます。お願いします。

＜譲渡条件について＞
学生：最後にご質問したいのが譲渡条件に関することなのですが、私たちは里親さん向けに提示する条件を考えようとしています。そこで、今オーシャンさんで里親さんに向けてどのような条件を設定されているでしょうか。

社長：譲渡条件は、譲渡するお客さんとの話し合いにもよりますけども、だいたいワンちゃんの避妊去勢手術やワクチン接種をした後、譲渡費用というのをいただいてます。
例えばワンちゃんがいれば、うちの方で予防接種をあの受けさせてからこの費用に含めたもので譲渡するようにしています。
　病気になった時の通院などは譲渡後の話ですね。そもそも病気のワンちゃんは譲渡しなせんし、後で病気になった時は、うちの獣医を使っても里親さんの近くの獣医師さんを利用しても構いませんよってことは言ってます。

学生：わかりました。自分たちが今考えたものの中で、これだけは最低限里親さん側に知っていてほしいというか、責任を持って飼ってほしい、引き取ってほしいと思っているので、もし病気になった時、今後適切な医療をちゃんと受けさせることができるかとか、そういうことの確認を条件に入れたいなと思っています。条件の内容的にはこのまま出しても大丈夫ですか？

社長：はい、全然大丈夫です。譲渡する里親さんの条件等はうちも作成はしています。常に相談しながら、譲渡契約書に追加するのがあれば追加してもいいのかなと思いますので、今度来た時にこの譲渡契約書を渡しますでの言ってください。

学生：ありがとうございます。

社長：契約書には結構細々書いています。例えば、血統書があるなしとか、譲渡した後はもう責任持って飼うようなことや譲渡後は一切返金返品はできませんなどです。そういった法的なものはちゃんと作ってありますので、それも参考にしてください。もっとより良い詳しく説明できるようなものを作ってもいいのかなと思っています。その辺は、みなさんの発想があれば、もっといい契約書ができるんじゃないかなと思います。

学生: わかりました。ありがとうございます。
この今ある譲渡契約書は、ブリーダーさんにも渡しているのでしょうか？それともオーシャンさん側で管理されているのでしょうか？

社長：里親さんと譲渡契約書を交わし会社がそれを保管しています。ブリーダーさんには渡していません。ブリーダーは引退犬を持って来て、犬を譲渡したらうちの方で責任を持って譲渡をするようにしています。まあ、ブリーダーさんの手助けをしているような形で考えてください。
　法的に六歳以上の犬に子を生ませてはいけないってことになったのですが、ワンちゃんの六歳というのはまだまだ若いです。このワンちゃんがもう引退ということになると、何万頭というワンちゃんがブリーダーのところで飼われることになります。そうするとダブリーダーさんもすごいエサ代とか費用とかかるのでブリーダー業がやっていけなくなります。
　ですので、ブリーダーを助けるために ６ 歳のワンちゃんでいいのがいれば、うちの方で譲渡してあげますよということで、お互いに助け合っていきましょうということです。
　このような気持ちで譲渡会を開催してますので、できるだけブリーダーさんの仕事に迷惑をかけないような形で私たちは受け取って、お手伝いをしてるって感じですので、その辺は理解してください。

学生：わかりました。ありがとうございます。
それから、前回、引き取った後にやっぱり元気な子がいいって言って戻ってきた子がいるというふうな話をお聞きしたので、もし今後そういう子が出てきた場合に返還可能期間などという条件を設けて、その子の行く場所をちゃんと次につなげられるようにできたらなと考えています。ですので、返還可能期間と条件をブリーダーさん側とオーシャンさん側の意見をもらって、そこもちゃんと決めたいなと思っているんですけどいかがでしょうか。

社長：我々は基本的には返還対象外と理解しています。ワンちゃんを販売するときも、譲渡する時も、返金返品はできないということをお客さんには理解してもらって譲渡したりとか販売したりしています。ただし、病気とか感染症があった場合にのみ特別に半年は設けていますが、これは子犬の場合です。譲渡の場合は成犬なので病気もないことがわかっているので譲渡したワンちゃんに対して返還を受け入れる期間は一週間ぐらいでいいのかなと思っています。もし、変換可能期間を設けるのであれば一週間でいいと思いますけど、皆さんどう思いますか？

学生：わかりました。一旦それでやってみます。

学生：私たちは、この返還したいっていうのが要望が出たときに理由とかを聞いて、そのちゃんとした理由なのであれば戻しても大丈夫ですよっていうふうに条件を作りたいなと思っています。この場合の相談役は学生では難しく判断がまだ正確にはできないので、そこにオーシャンさんの介入をしていただけるようであればお願いしたいんですけど。

社長：いやいや、その辺は学生さんたちに全部丸投げってことはしません。そういった問題点とかクレームとかがある場合はうちのスタッフの方で対応しますし、改善する努力をします。そのときに、また皆様も一緒に考えてもらえばいいのかなと思います。
　譲渡に関しては、私はそんなにトラブルはないと思っています。成犬だし、見た目もそのまま。性格ももうそんな変わることもないですから。
　ただ、どうしても生き物ですからワンちゃんが夜中に吠えるとかわがままで言うことを聞かないというクレームをおっしゃる客さんというのは結構いますので、それに対しては、我々スタッフをつけて一緒に改善する努力をしますので心配しないでください。大丈夫ですよ。

学生：ありがとうございます。

＜その他＞
儀間：以前見学させていただいた道を挟んだ旧店舗を使って譲渡会を開催することは可能なのでしょうか？

社長：私の考えでは、今まで通り新しい店舗の駐車場でやる予定をしています。
まあ旧店舗で行うことも可能ですけど、今、果たしてお客さんが渡ってまで来るのかなというのが正直なところです。
SNS を上げてポスターを貼って、それだけでお客さんが来るのでしたらいいのですけど、まさか旧店舗で譲渡会をやってるのはわからないと思います。現状は、お客さんがえっ、譲渡会してるの？という段階なので。

　誰もいないところで、みんなで一生懸命やってもどうかなと思うわけです。SNS のフォロワーが増えて、今何百人いるから、何名来るという予測がきちんと立つようになったら、旧店舗に案内係を置いて向こうでやってますよという感じのやり方もできるとは思いますが。

儀間:わかりました。
では、今回は私たちもまだ話聞いただけで、当日の一日のちゃんとした流れっていうのが実際に体験してないので、とりあえず新しいショップの前で前見学させていただいた形でやらせていただきたいと思います。
　ただ、今後の展開も考えて旧店舗をもう一度見せていただいて、譲渡会のイメージを固めたりすることは可能でしょうか。

社長：いつも空いてるのでどうぞ。むこうには外のベランダがありましたよね。そこに、何匹か放して、そこに譲渡会の旗を上げておくのもありですね。逆に、お客さんが新店舗に二人ぐらいいたら、もっとたくさん旧店舗にはいますよといいって、案内を道反対側にかけてもいいのかなと思います。
　あの学生さんとの力で、たくさんお客さんが来ますということでしたら、もう全部旧店舗に案内するようになればいいですね。旧店舗には設備がまだあるので、シャンプーとかトリミングをできる学生にしてもらって、ブリーダーさんのワンちゃんをきれいにしてから、またお返しするのもブリーダーも喜ぶんじゃないかなと思います。
　それからワンちゃんを綺麗にしなくてもいいから持ってきてください。学生さんがやってくれますよということも私は言えます。その辺はゆくゆくはこういう話し合いの中で進めていってもいいのかなと思ってますが、先生どうですかね？

儀間：ありがとうございます。はい、そういう流れで、まずは私たちも一度体験してみて、一緒にやってみていろいろ成長してゆければと思います。

社長：それに、今、我々もスタッフも譲渡犬を交代交代で見たり、譲渡会のために一人補充した体制でやったりして、ギリギリの線でやってるもんですから学生さんの力はほんとうに助かります。

儀間：わかりました。学生にとっても御社のスタッフさんの手があいているときに、ちょっとでもいろいろなお話ができれば勉強になるとおもいます。

社長：学生さんに本当にやる気であれば毎週やってもいいくらいですよ。
第二、第三、第四までありますんで、二手に分かれて三名とか四名来てもいいですし。常に毎週にやっていますと言った方がお客さんも来やすくなりますし。まあその辺は皆さんでまた考えてみてください。

儀間：最後に一ついいでしょうか？
この前見学させてもらった時に、ショップの中をこのサークルメンバーがお客さんに案内できるようにという話があったと思いますが、ショップの中の見学は 23 日に可能でしょうか？

社長：時間があれば案内をさせてもらいます。譲渡したワンちゃんの餌とか首輪、餌を売ると餌入れとかも必要ですよね。あと食器類、ブラッシング類、シャンプー類も最低でもそのぐらいはあのお客さんにお勧めするという勉強はしていただくことはできると思います。
可能であれば時間を割いてやってもいいですよ。

儀間：ありがとうございます。それは前もって別日に伺った方がいいですか？

社長：当日、二手に分かれてでも案内できると思います。朝はちょっと忙しいかもしれないけど、お客さんがすく時間帯、午後一時ころにできると思います。

儀間：わかりました。お願いします。

社長：最初からお客さんがいっぱいってことはなかなかないと思いますけども、継続してお客さんがどんどん増えてくればうちとしても助かりますし、譲渡犬も幸せになると思いますので、頑張ってください。



金城社長


初めての web 会議


司会の伊禮さん

2.3　譲渡会活動

2.3.1 第一回実施概要

日　時　令和7年 11 月 23 日
実施責任者　代表伊佐、副代表：城間 2 名
運営人数 5 名
場所　ペットショップオーシャン
対　象　繁殖引退犬の里親
内　容　①繁殖引退犬健康チェック
②譲渡会場の清潔を保つ
③里親候補に対する給餌方法、日頃のお手入れ、犬種毎の疾患リスク、予防接種など適正飼養に必要な情報提供

2.3.1.2 企画書と結果

2025 年　11 月　20 日
作成者：伊佐　花里奈

企画名	繁殖引退犬譲渡会ボランティア
企画趣旨・目的	①　解決すべき課題： ６歳を迎え、繁殖犬としての役割を終えた犬達の行き場がなくなっていること、ブリーダーの負担が大きくなってしまっていることが課題だと考えています。 ②　活動の目的： 繁殖引退犬を里親に引き渡し、残りの生涯を伴侶動物として幸せ暮らせるよう適正飼養を促進すること、また、ブリーダーの負担軽減を目的としています。
実施日（期間）	２０２５（令和７）年１１月２３日（日）
実施場所	ペットショップオーシャン
ターゲット（対象）	繁殖引退犬の里親
企画内容	当日参加する繁殖引退犬の健康チェックを行い、必要に応じて、ブラッシングなどのお手入れも行います。 定期的に犬の体調を観察し、譲渡会会場の清潔を保ち、犬も人も過ごしやすい空間を維持します。 また、里親候補の方に対して、給餌方法、日頃のお手入れの方法、犬種毎の疾患のリスク、各種予防接種など適正飼養に必要な情報を提供し、理解を深めます。 以下の４つを今後実施する予定です。 ①　カルテ作成 ②　ポスター作成（SNS の活用） ③　繁殖引退犬と里親候補の方が触れ合えるスペースを設ける ④　動画を撮影し、遠隔で犬の様子を流す（暑さ・寒さ対策）
KGI(Key Goal Indicator) 達成する目標	参加人数　　１０組 （実績　15 組） 譲渡成立数　１頭 （実績　１頭）

KPI(Key Performance Indicator) KGI を達成するための活動方法と活動目標	ポスターや SNS アカウントを活用します。
必要経費概算	交通費　　０円 印刷費　　０円 消耗品費　０円
活動のべ時間見積り 一人当たり時間×人数で計算	企画立案のべ時間：約３時間×１４人＝４２時間 企画準備のべ時間：１時間×５人＝５時間 企画当日のべ時間：６時間×５人＝３０時間 報告会・振返り総括のべ時間：１時間×６人＝６時間 計８３時間（83×1023＝84,909 円）
企画代表・副代表	代表　伊佐花里奈　　副代表　城間帆南　城間理子
会計責任者	豊見山佳奈
企画運営メンバー	役割分担 〈店舗前での対応〉 お客様対応　２名 動物管理　　１名 〈旧店舗準備〉 ２名 ※当日はローテーションで回します。
タイムスケジュール	１０時～１１時　　ペットショップオーシャン集合 清掃など会場準備（約１５分）、 ブリーダーから犬を預かり、健康チェックを行います。 １１時～１６時　　譲渡会開始 里親候補の方に情報提供をし、譲渡が成立した方に対して、ペットショップオーシャン内に案内し、飼養する際に必要な用品を紹介します。 （当日参加するサークルメンバーは２グループに分けて１時間ずつ休憩をとります。） １６時～ ブリーダーに犬を返して、会場の片付けを行い、終わり次第、報告・振り返りをし解散します。
備考	

2.3.1.3　学生ふり返りとショップスタッフのコメント

（イサカリナ）
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
①疾患がある子が来たときの対応
②日差し・暑さ（動物に直射日光が当たる。テントでは補いきれていない。）
③参加してる子達の説明が足りない
④お客さんよりスタッフが多くて見にくい雰囲気
⑤外国の方もたくさん来るから英語で伝えられない

＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
①事前に知ることが出来ればその疾患への対応の仕方、リスク、どんな病気なのか調べてお客さんに説明できていい。
②中でできれば 1 番いい。テント以外にも日光を避けられるような日よけがあればいい。
③事前に犬種が分かれば、調べられるからお客さんに特徴、リスク（病気とか）伝えやすい
④分担して固まらずに、受付、動物管理とかで人数を分ける
⑤旗を英語表記にしたり、外国の方にも分かりやすいようにしたい。（軽くマニュアルを作るつもり）

＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
1 日を通して流れはなんとなく分かったけど、譲渡成立後の流れがよくわからない部分もまだある。お客さんが来た時の対応がぎこちなかったりスムーズにできるようにしたいと思った。

（シロマホナミ）
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
①疾患がある子に対して事前に確認できていなかったこと
②暑さ対策をどうするか
③トイレ問題
④外国の方への対応
⑤学生が多い→人があまる

＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
②暑さ対策→もっと影をつくってあげる
④外国の方への対応→英語の案内、旗など
⑤学生が多い→マニュアル作成

＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
飼い主さんが自分のペットを連れて見に来てくれる方が多かったため、譲渡に参加している子が興奮しておどろかせてしまうことが多かった。
来てくれる方が遠くから見てることも多かったので、もっと、こちらから声かけや呼び込みもしていこうと思った。

（シロマリコ）
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
①病気の子に対しての対応
②暑さ対策
③ペットシーツ敷きたい
④消毒が欲しい

＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
②暑さ対策（夏場）、寒さ対策→風があまり当たらないようにタオルをかける
〇人数多いとやることが減る
〇お昼わけてもいいかも

＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
自分が想像していたより大変でした。譲渡会はただのボランティアではなく、その子にとっても自分たちにとっても大事な出会いを作る場所だと感じました。そのことに関われたことがうれしかったし、これからもって成長していけたらなと思いました。
譲渡されていく姿はさびしい気持ちもあるけど、その子に幸せになって欲しいという思いが強くありました。

（トミヤマカナ）
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
①疾患を持っている子の説明
②暑さ・寒さ対策
③ペットシーツ敷いたほうがいいかも
④人数が多いと近づきにくいのかなと思った

＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
①事前に来る子の疾患を知っておく
②熱いとき→体力消耗させないようにする（犬と犬同士にタオルを掛けたり、さわりすぎない、かまいすぎない）
寒いとき→風が当たらないようにバケージの周りに毛布を掛ける。旧建物のところで行う

＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
ポメラリアンが新しい家族と出会ってく姿をみてやりがいを感じたし、この活動をする意味を理解できた１日でした。

（アカミネチヒロ）
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
①暑さ・寒さ対策
②トイレ対策
③予備知識不足
④名前や年齢の把握

＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
②トイレ対策→パンパース
③予備知識不足→事前に分かる情報を共有してもらって知識を入れる
〇見分けるポイント

＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
当日の情報で病気や内容を把握（事前に）
個体差や色などの把握
初めて参加して当日のだいたいの流れやトイレの片付け方、テントや配置を把握した。
みんなですすんでやる事ができた。もっと人がいればグルーミングと対応とで人を分ける事ができそうだと思った。もっと自分からコミュニケーションをとりにいくようにしたい。

＜ショップフタッフコメント（秋山様）＞

＜暑さ対策について＞

　日差しに関しては、今日はとくに暑くて、アイスマットを敷いていたりするんですけど追いつかない部分があったり、扇風機を回していてもやはり暑かったようです。ただ、夏場でも暑くない日がありますし、冬でも寒い日も暑い日もあります。

　お客さんもやはり暑いとか寒い部屋の中にずっといたくないと思うので、自分たちも室内でできればいいなというのは常々思っています。ただ、どうしてもここ（旧店舗）はホテルの子がいたり、お客さんたちがいたりとかで、使えなかったりするという状況もあります。ですので、現実的にはここにカーテンをつけるという方法がありますが、自分たちとは違う声がすると反応することもあるので、そこはちょっとまだ社長と相談しながら何かいい方法があればと思っています。

　とりあえずは今の場所で、テントを増やすとか日よけのカーテンを増やす対策をしてしばらくは外で代用していく形にはなるのかと思います。
　今日は、思いのほか車が多くて、普段に比べれば譲渡会場自体がガヤガヤしていた１日だったなと感じています。

＜疾患について＞

　今日、特に疾患、心臓が悪い子がいて、そこにみんなが気づかってくれていたと思います。ですのですごく感謝しています。また、目が白内障になってる子や、子宮が悪い子など何かしらのトラブルがある子がどうしても多いので、そこをうまくちゃんとお客さんに伝えていけるようにしていかなくてはいけないところです。朝も話したんですけどブリーダーさんのところなので声帯を切ってる子がどうしても多いです。
　お客さんからすると声帯を切ってるというのはやっぱり良い印象に思われないのでそこをいかにプラスに伝えていくか。本人的には声がでないことでストレスがかかりますが、周りからもそれがちょっと見てて、えーってなるのは事実だと思います。なので、そこのうまく言い方っていうのが、先に進めていく方法、あの子たちの家族を迎えていくやり方なのかなっていうのは感じています。

＜事前の情報について＞

　事前に情報を取るのに関しては、自分たちも当日にこの子が来ます、何歳ですっというのを事前に知ることができてないので、これは自分たちの課題でもあります。もっと私だけでなく、他のスタッフたちも分かるようにしてあげないと、スタッフが休憩に行くときに分からないという状況になってしまいます。せめて１週間前にじゃあ次はこの子が来ますよ、何歳の子ですよという状況がわかるようにしたいなと思っています。

　その犬の説明とか疾患のある子の対応っていうのもそこにまたつながってくると思うんですね。事前に分かれば準備もできるし病気に対しても調べれるし。じゃあこういう言い方をしようっていうのも多分分かってくると思うので、自分たちがもうちょっと早く情報を知れるような感じにしたいなと思っています。

＜スタッフの多さについて＞

　スタッフの多さに関しては、どうしてもバタバタしたり騒々しくなったりしてしまうことがあるんですが、誰かがグルーミングをするとか、誰かがお散歩しながらこんなに歩くこともできるんですよとかっていうのを見せて回ったりとかする方法があります。
　あとは自分たちが犬猫を販売するときもよくするんですけど、表でお客さんの目の前でお手入れをしたり、抱っこして歩いてみたりとか、こういうのを使っていてこうやって歩くんですなど、ちょっと話していろんなことを聞いて、お客さんがどんなものを求めているのか、チラっと見ていても少なからず興味があるので、ちょっと見てみませんか?とか、帰りにみてくださいねなどと会話をすすめます。
　この子、今 3 歳なんですけど、ちょっと見てみませんか?とか、ちょっと耳がこんななんだけどとかっていうのを耳を掃除しながら話しかけるなどして、こっちから話題を振っていきます。そうすると、お客さんがどうしようって思ってる壁をちょっとうちくだいてあげれると思います。そういうことをして人数をばらけさせることができます。

　表に出ている人でも受付をする人、手入れをする人、耳掃除を汚れてなくてもしてお客さんに見せるというのもありです。ブラシはもちろんできることだし、爪切りをする人でもいいし、ただ抱っこして触ってあげても大丈夫です。
　ただ、外でするので、逃がさないようにするというのは絶対に気をつけています。店内を散歩する時もそうですね。うちでは、二重リードにしています。必ず 1 個は閉まるような首輪にして首輪と閉まるリードをつかって二重リードにしています。自動ドアも行けば開くので犬を動かす時には必ず二重リードで安全性を重視しています。
　お客さんとの犬と立ち会わないように、お客さんがいたらまず抱っこして合わせてみますか、可愛いですねなど入って、話をしながらくっつけるようにやっています。

＜外国人対応について＞

　うちもみんながみんな英語をしゃべれるわけではないので、うちはトリマーさんの子から勧められたアプリを入れています。お話ししたりとかもちろん片言の英語で喋りもしますけど、みんなが喋れるわけではないのはお客さんも分かってくれるので、私英語が苦手なんだけどと言って、単語単語でも分かってくれるのでそういうところから距離を近づけていきます。ジェスチャーとかでもいいし分からなければアプリを使ってでもいいし。いろんなものでコミュニケーションが取れるので 何も堅苦しく文法を作ってしっかり話しましょうとなる必要はないかなと思います。

　のぼりを英語で作るのはお金がかかってくるので、できるだけコストのかからない方法で、運転している外人さんでも何かやってるってよって入ってこれるようなポップとかイラストだったりとか、そういうのがいいのかなと思います。

＜トイレに関して＞

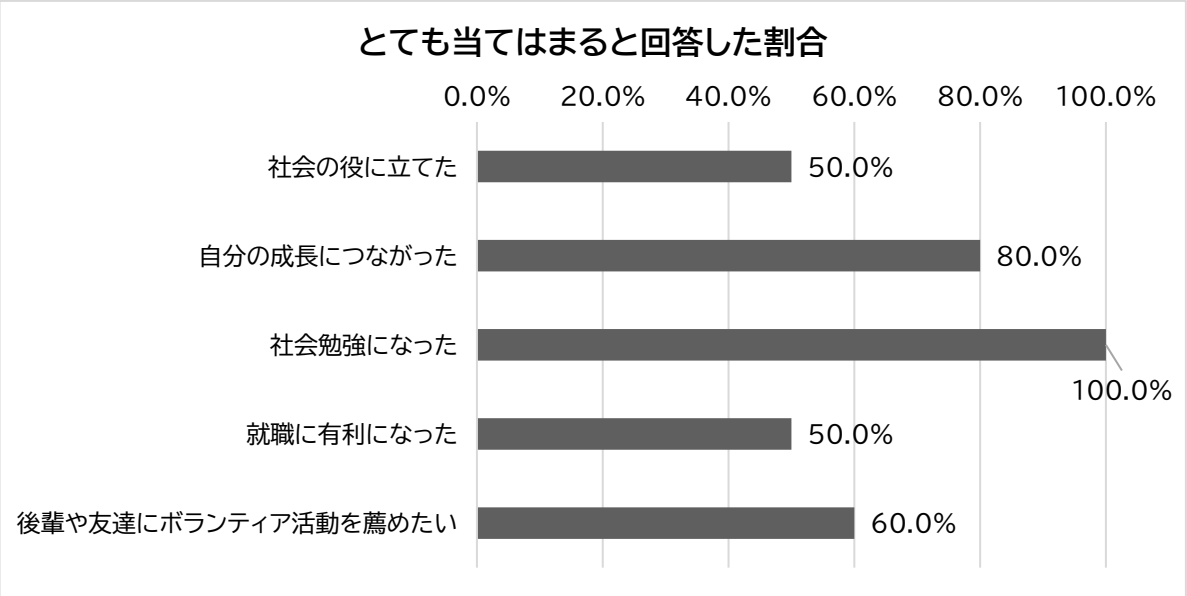
　トイレに関しては今日はおむつつけてなかったんですけど基本おむつをつけてることは多いです。今日いたフレンチは特にしょっちゅうおもらしをするんです。お腹がゆるいのであの子に関してはおむつしててもすぐお尻がべっちゃりするので、あの子は拭いてます。
　トイレに関しては、うちは外に洗うところがないので、雑巾を洗うにしても結構大変な部分があります。でも、譲渡会用に道具が揃えれたらいいなと思っています。給水器にしろ掃除道具にしろ揃ってないのが現状です。

　トイレはうちもやってて、シーツだけひいてると結構ぐしゃぐしゃにする子も多かったりします。かといってトイレを置くってなると中で使ってるのを使うわけにはちょっといかないので、ここのまたコストの面で関係してくるのですぐに用意できますっていうのはちょっとできないんです。今日はいつもよりも頭数が多かったということもありますが、今後やっていくとしたら、多分マナーパンツをはかせることかなと思います。お腹が弱い子とか、例えばサイズがすごく小さい子とかに関しては、またその別の対処法になってくるとは思います。ただ、お掃除がしやすいように、トイレが誰かしたか分かるようにっていうのは、もうちょっと入れ方なり、見せ方なりを考えていきたいなとは思います。

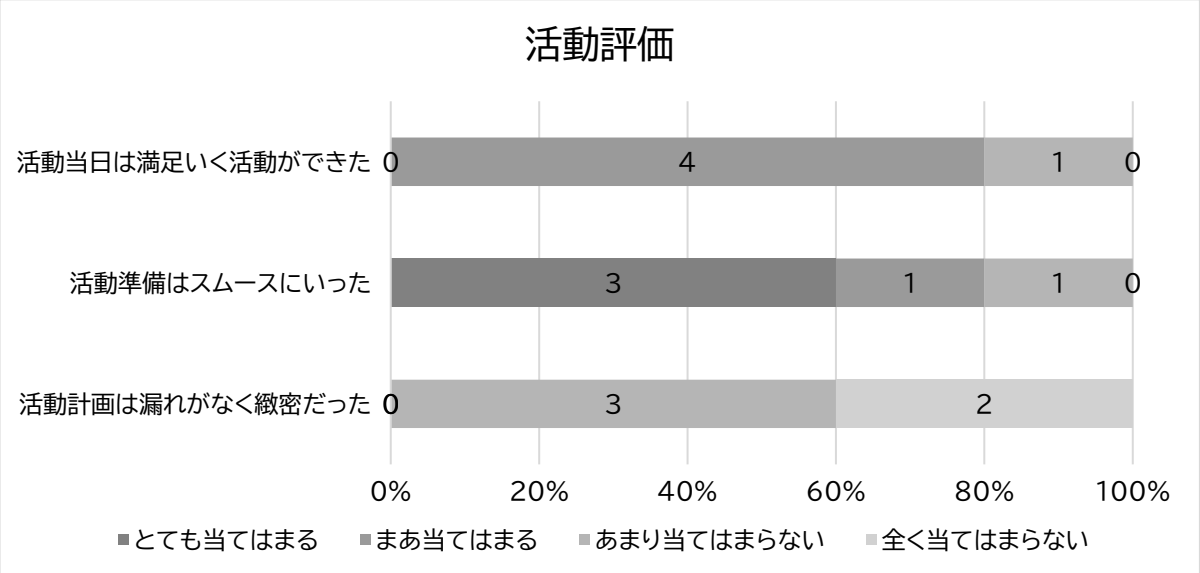
＜その他＞
　今日は、みんなすごく頑張ってくれていたと思うしワンちゃんたちにも優しく接してくれていたのですごく感謝しています。もちろん初めてお客さんに相手する側になっているので戸惑うこともあったと思うんですけど、何回もやっていくとお客さんと話す楽しさだったり、進め方だったり、何より自分たちがこの子の家族を決めたいという思いがあればそれはきっとお客さんにも伝わると思うので、学生なりの接客や説明の仕方だったりとか、アピールの仕方だったりとか、そういうのもあると思うのでうまくみんなで話し合いながらやってくれたらいいと思います。

2.3.1.4　活動及び非認知能力評価

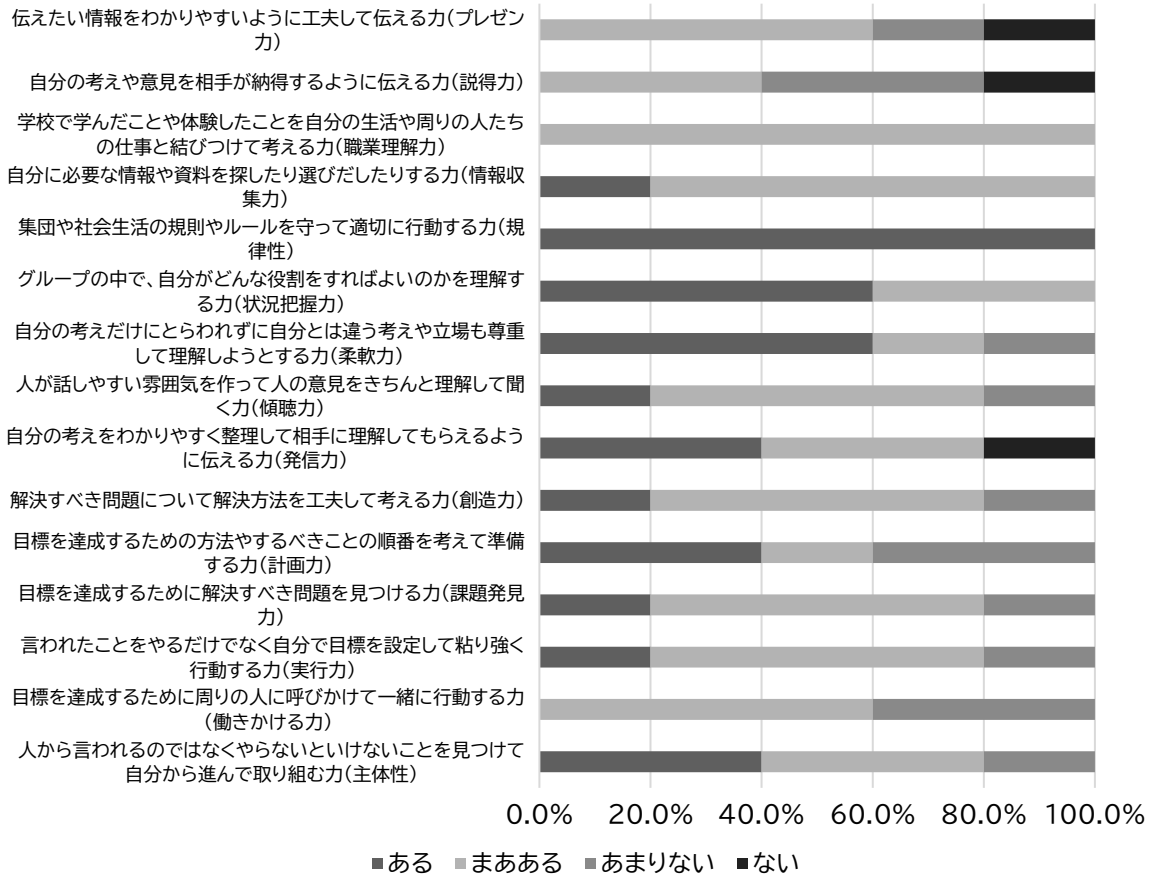
自己評価



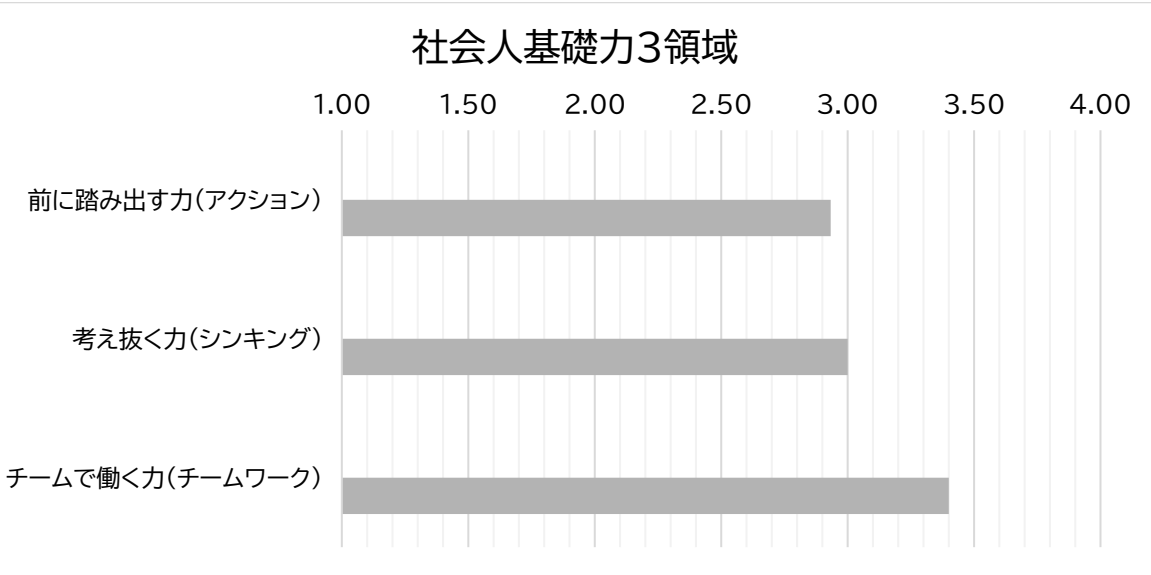
活動に対する評価



非認知能力自己評価



非認知能力3領域評価



2.3.2 第二回譲渡会活動

活動報告書（日誌）

日時・記録者	2025 年　12 月　14 日　　10 時　30 分～　16 時　00 分　　記録者（伊佐花里奈）
参加者	植村青澄 城間理子 栄愛音夢 伊佐花里奈
活動内容	・担当者と打ち合わせ、流れの確認 ・会場準備 （ペットクラブオーシャン周辺の清掃、テント設営、ケージ設置、犬の移動） ・ペットクラブオーシャン内の見学 ・シャンプー、爪切り、耳掃除 ・犬の管理 （体調管理、排泄物処理） ・譲渡会見学者対応 ・会場片付け
議事の記録 連絡事項、打ち合わせ内容、決定事項	・譲渡保険加入の義務 ・譲渡誓約書の内容確認 ・お客様への質疑応答の内容確認
判明した課題	・暑さ、寒さ対策 ・疾患がある犬への対応 ・学生の人員配置 ・トイレ対策 ・予備知識、情報不足 ・個体識別
次回の日時と内容	２０２５年１２月２８日（日） 今回と同様の内容で行います。
備考	【目標数値】 譲渡会見学者：10 組　　譲渡成立：1 頭 【結果】 譲渡会見学者：21 組　　譲渡成立：0 頭 （のべ対応 36 組　譲渡 1 頭） 検討中の方１組(１２月２８日の譲渡会にて最終決定予定) 【人的コスト】 ＜今回分＞ 4 人×5 時間＝20 時間（20×1,023＝20,460） １組あたり対応コスト(20,460 円÷21 組=974 円) １譲渡あたりコスト(20,460 円÷0 頭=計算不能) ＜のべ総コスト＞ 103 時間（103×1,023＝105,369 円） １組あたり対応コスト(105,369 円÷36 組=2,927 円) １譲渡成立あたりコスト(105,369 円÷1 頭=105,369 円)

2.3.2.1 学生ふり返り

（ウエムラアズミ）

＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
①人やお客様の犬に吠える
②シャンプー、耳そうじ、爪切りが、1匹45分くらい時間がかかった
③雨、寒さ、暑さ対策ができるように室内でできるならば散歩
散歩時：噛んだりケガをする危険がある場合はだっこする。
ハーネスやリード、安全対策として学校のゲージ

＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
なでたりして気をそらす。馴らす
シャンプーをする前に病気だったり性格を聞いて知っておく
ミニピン、パテラ
＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
来てくれた人たちが家で犬を飼っている人が多い

（イサカリナ）

＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
①お手入れに時間がかかる
②避妊・去勢について聞かれたときの対応
③雨が降った時の対応
④寒さ対策

＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
①ハーネスとかがあれば一人ずつ対応できる（落としたりケガの可能性を回避）
②病気のリスクを減らすことができるからなるべく去勢して欲しいと伝えたが金銭面やかわいそうだを気にしていたから、その部分の伝え方をどうしているか教えて欲しい
③室内
④洋服のサイズを枚数を増やす OR クッションとかを置く（散歩をしておしっこしてもらう）

＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
前回に比べて深く内容を確認される場面が多かった。避妊・去勢やマイクロチップ、外飼いについての伝え方を統一できるように確認しておく必要があると感じた。

（シロマリコ）
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
〇風が強くて寒そうだったので、風よけが出来ればいい
〇雨が降った時の対応
〇わんちゃんたちが退屈そうだったので、お散歩させてあげたい
〇お客さんに聞かれたことをすぐに答えられなかった。
〇他のわんちゃんをみて吠える子
〇お客さんのワンちゃんをけがさせないか不安
〇寒さ対策、洋服だけだと寒いかも

＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
〇雨の時にわんちゃんがぬれない対策をとりたい
〇お散歩させるのもあり？
〇もっと知識を高める！
〇寒さ対策は毛布も良いかも

＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
今日2回目の譲渡会をして、いつもより人数が少ない中でしたが、前回よりはお客さんとコミュニケーションをとったり、流れがつかめてきたなと思いました。
お客さんと話していく中でインスタみました！と伝えてくれたのでとてもうれしかったです。繁殖犬の子たちの説明をスラスラ伝えたりすることができたので、次回も今日みたいな感じで伝えられたら良いなと思いました。
後、最後に聞きたいことがあるのですが、雨が降った時の対応はどうしていますか。

（サカエアネム）

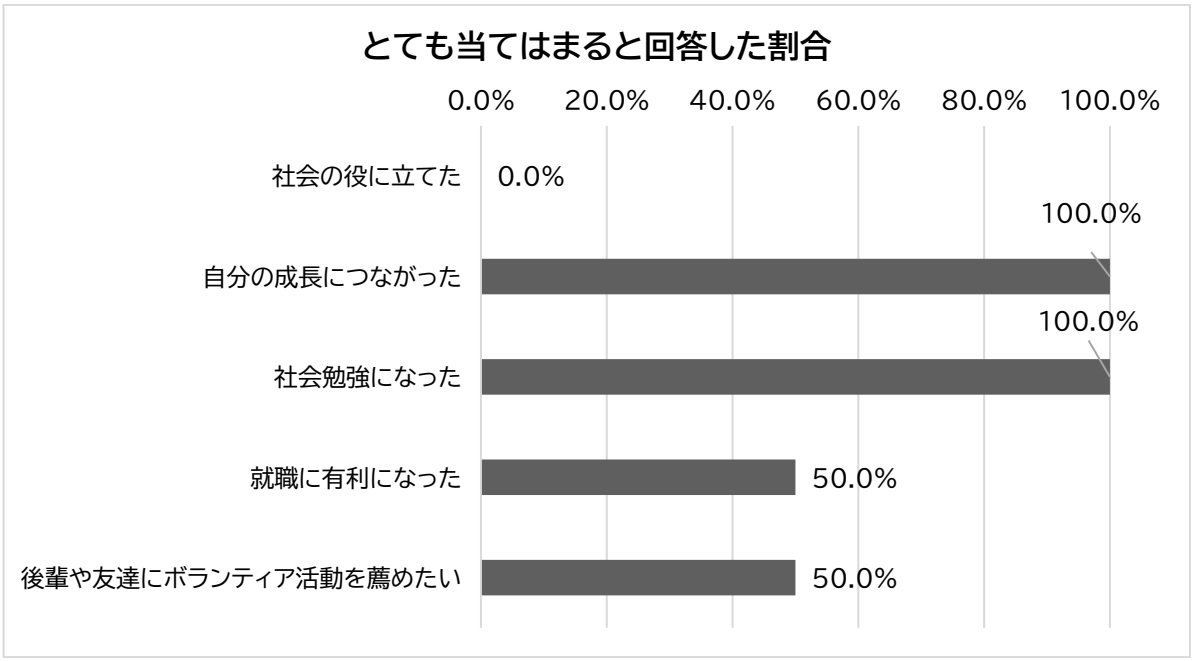
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
〇犬と犬同士の吠え
〇お客さんの対応をスムーズにしたい
〇寒さ対策
〇急な雨の時どうするか
〇部品系の場所を知る

＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
〇寒さ対策で洋服をつけていた。フレブル用の大きいのがなかったので、いろいろな大きさのやつを用意したい。
〇犬の特徴をお客さんに伝える

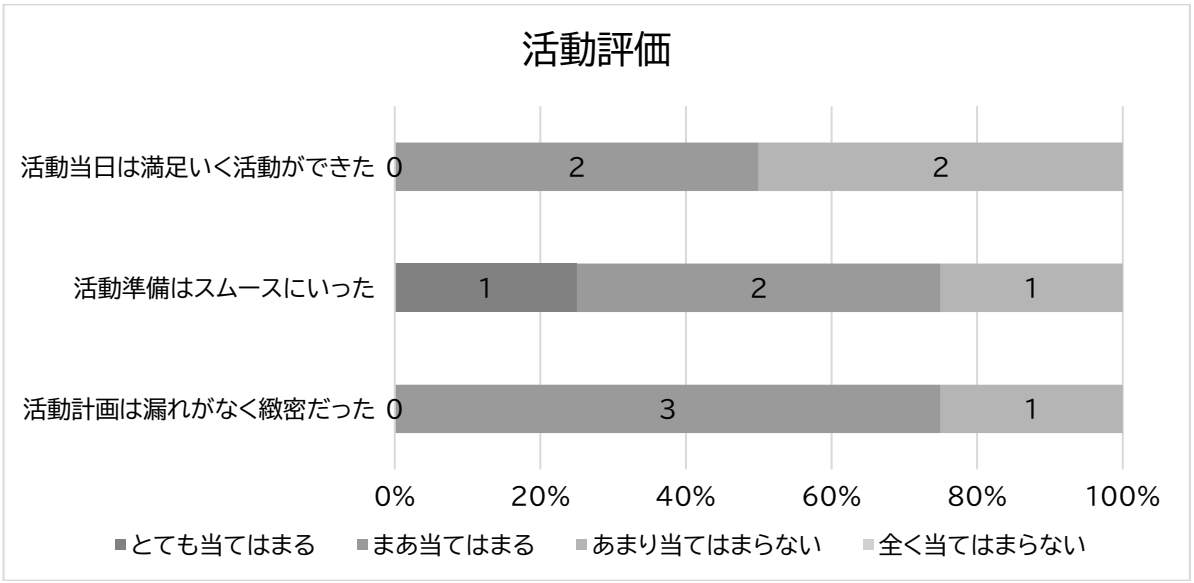
＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
実際に譲渡会をしてみて、お客さんに話しかけけるのが難しかったので、次は自分から犬のことを伝えられたらいいと思った。
犬と犬の吠えがあった時に、目隠しをしたかったけどそうすると、お客さんから見えなくなってしまう点があった。

2.3.2.2 非認知能力等評価

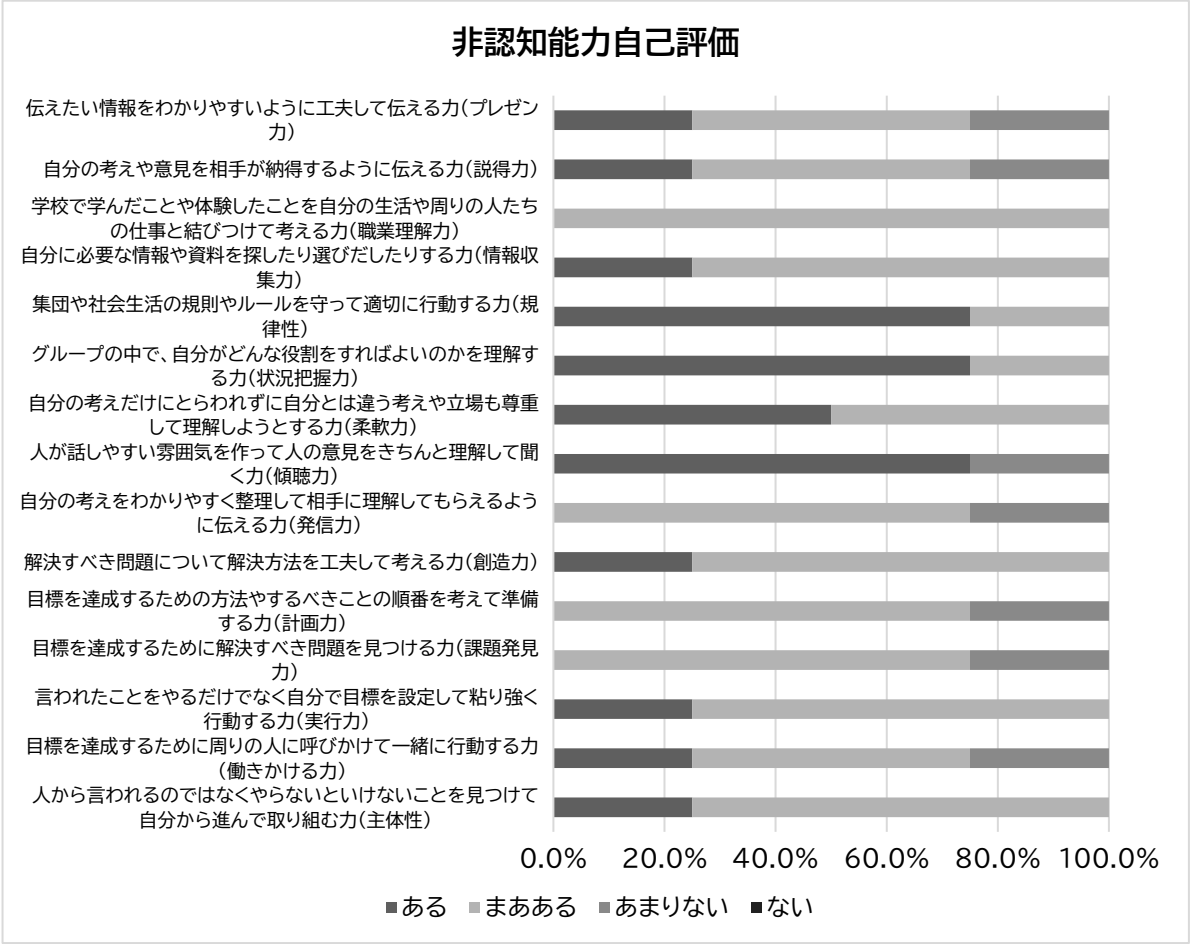
自己評価



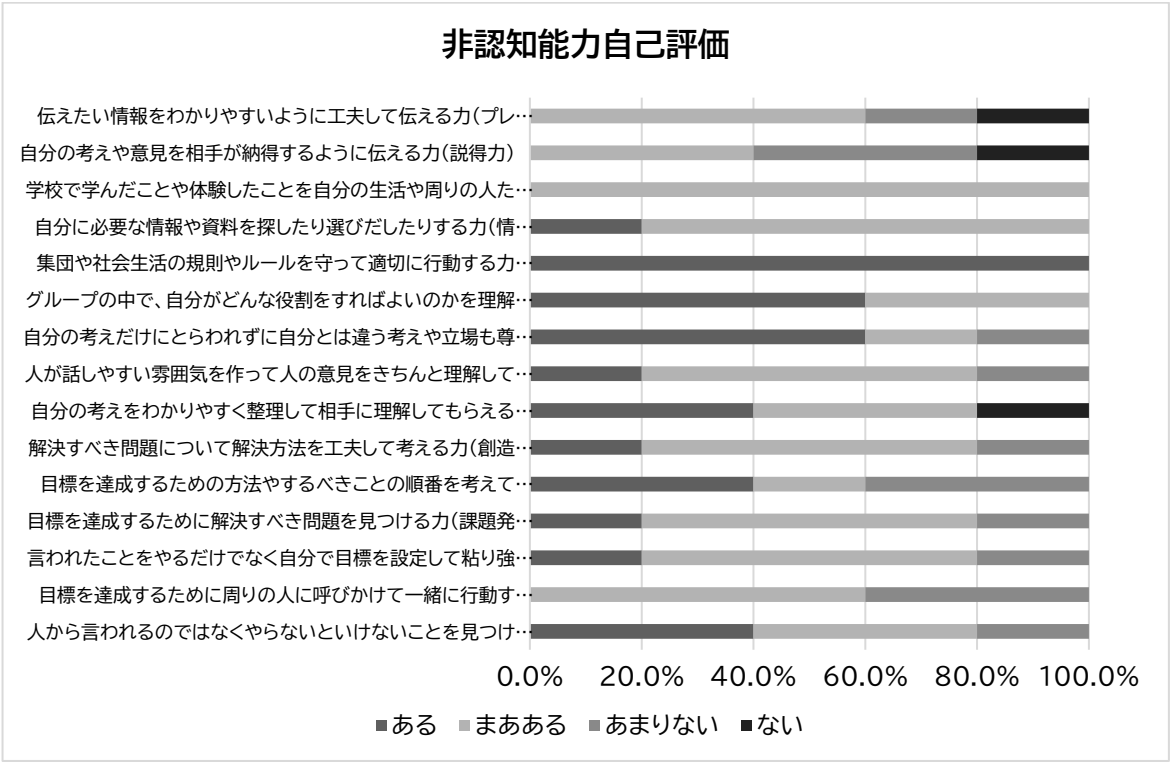
活動に対する評価



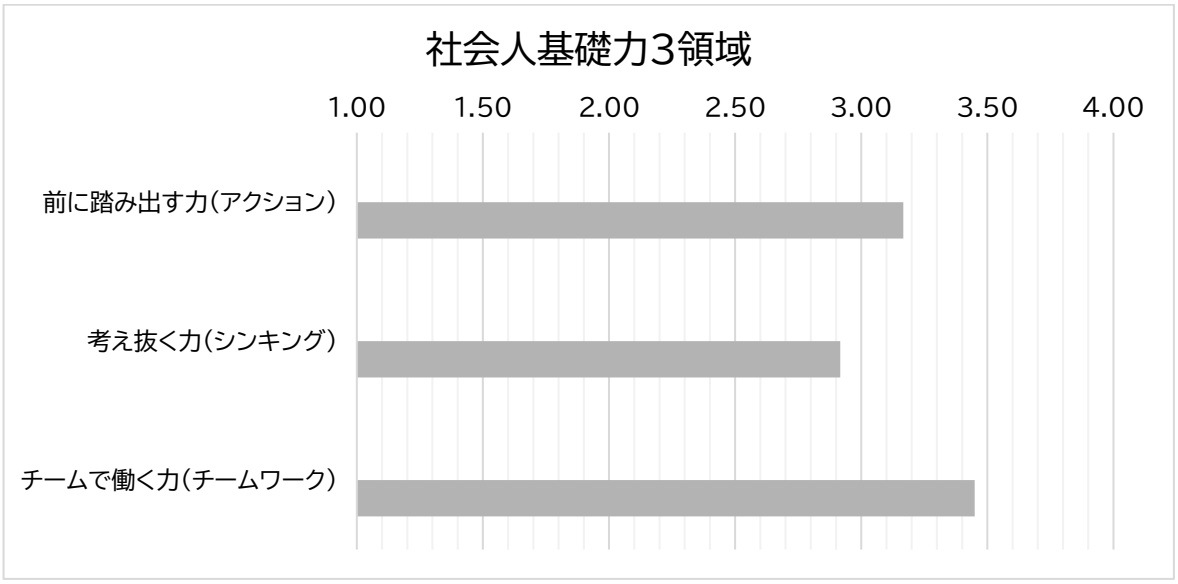
非認知能力自己評価（今回）



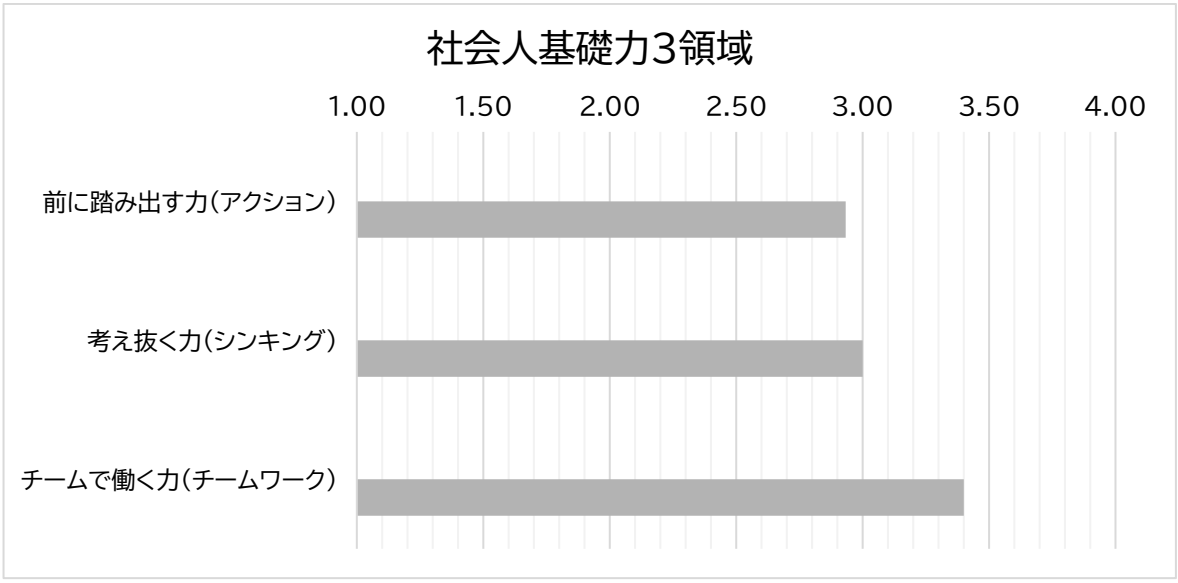
（前回）



非認知能力3領域評価（今回）



（前回）



2.3.3 第三回譲渡会活動

活動報告書（日誌）

日時・記録者	2025 年　12 月　28 日　　10 時　30 分～　16 時　00 分 記録者（　　）
参加者	城間帆南 豊見山佳奈 岸本愛華 池原愛紗 大城優衣
活動内容	
議事の記録 連絡事項、打ち合わせ内容、決定事項	
判明した課題	
次回の日時と内容	
備考	

2.3.3.1 学生ふり返り

（シロマホナミ）
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
譲渡に参加するワンちゃん達のケア（お風呂、ブラッシング、爪切り、耳そうじ）
・本来であれば譲渡に参加するワンちゃん達を優先にケアを行うべき場面もありましたが、ケアの対象がずれてしまったこと。

＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
先に譲渡会に出るワンちゃん達をチェック（汚れがないか、爪は長くないか、耳は汚れていないか）などチェックが終わったあと時間と人があまっていれば他に参加しないワンちゃん達のケアに入る

＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
前回の経験があったことで譲渡会の雰囲気や流れを理解した上で行動することができ落ち着いて対応することができました。

（トミヤマカナ）
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
散歩するときにつけるハーネスや首輪のサイズを増やしたい（いろんな大きさの個体がいるからそれぞれに合うようにもう少し増やした方がいいと思った）
ハーネス、首輪は覚えていない
自由に走らせる
動くのが見たいことだったら、お店の中ではなしても OK

＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
学校からもっていく？

＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
散歩をして譲渡会のことをアピールしたり、ふれあいさせることで、興味を持つ人は増えるんじゃないかなと思ったので、次回の譲渡会でも取り入れたいと思いました。

（キシモトアイカ）
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
①散歩にチャレンジしたかったけどハーネスのサイズが合わずできなかった
②スタッフの方々も私たちも犬の個体識別ができてなくて、取り違えられてた。
③健康状態のチェックが出来てなかった。フード吐いてる子がいた。

＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
①ハーネス買う
②引き継ぎちゃんとする。写真×情報を LINE で送る
③チェック表を持ってくる。最初で確認して記入

＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
初めての参加で分からないことだらけだった。気になっている人がいた時にわからないことが（健康状態、しつけできているか）が多く、答えが出せないのが悔しかった。散歩はやってみたら出来そうな子が多くてよかった。
展示してる子で汚れている子がいたので、シャンプーの優先順位を上げたりできたらいいかなと思う。

（イケハラアイサ）

＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
譲渡の子たちの最初の状態をあまり確認できていなかった
シャンプーに少し時間がかかった？
ハーネス足りない
情報がないことがあった

＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
最初に譲渡の子のチェックをする
シャンプー（手入れ）をする優先順位を考える
説明できるように情報収集する。してもらう。

＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
1 頭 1 頭とまだちゃんと向き合えなかった。
流れがまだちゃんと確立できていない

（イケハラアイサ）

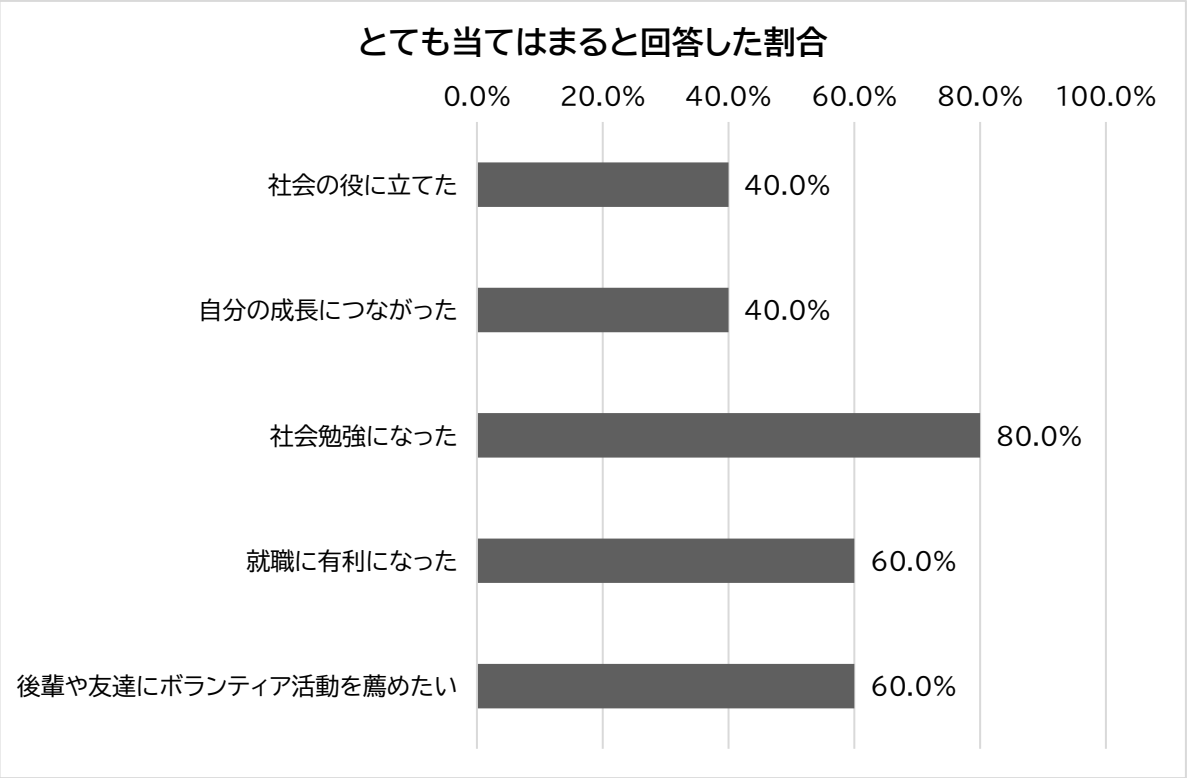
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
散歩をする予定だったけど 2 匹しか出来なかった。その 2 匹もおやつでつって歩いたり、駐車場だけだった。

＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
来た子全員を散歩させる気はなかったけど、ハーネスをこわがってつけることが出来ない子がいたから、首輪から慣れさせたりしたい。慣れた子から散歩できたり、歩くのが好きな子を見つけ出せるかも。

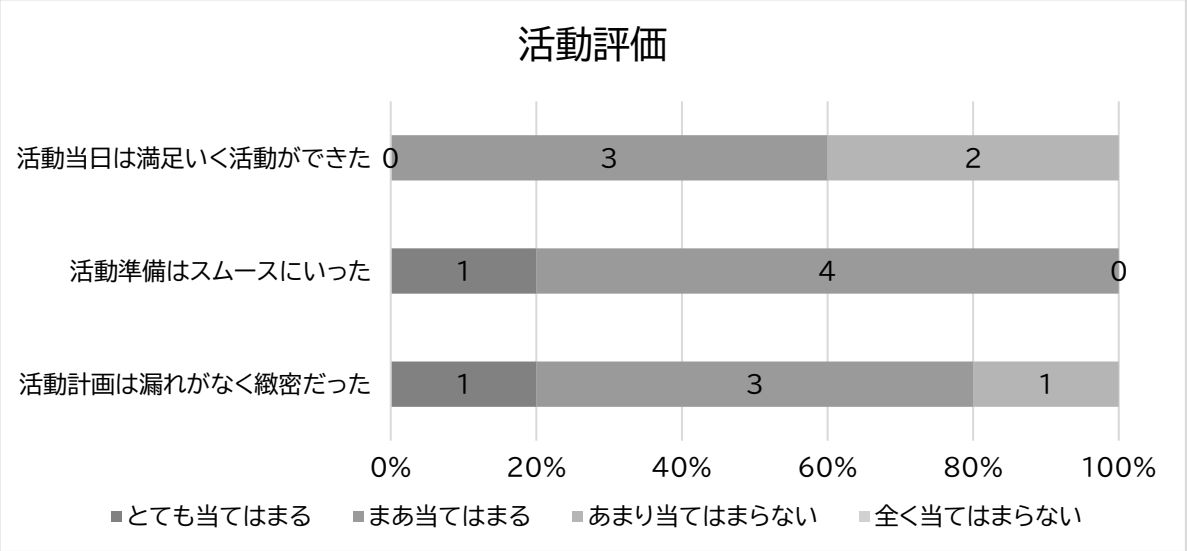
＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
暑い（冬だけど太陽が出たら暑いのでもう少し日陰がほしい）
見てから気になって質問する人が多いイメージ
犬をつれてきた人が犬がいるせいでほえられて見に来れてない

2.3.3.2 非認知能力等評価

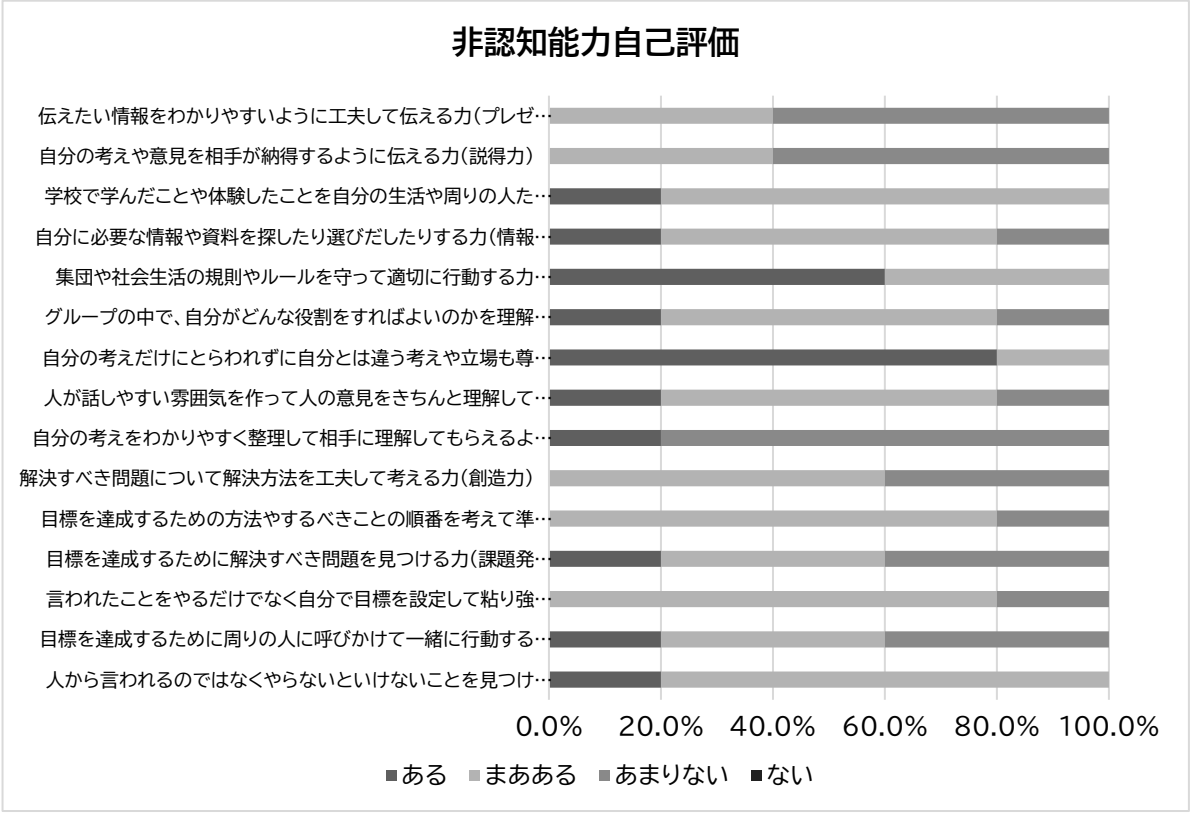
自己評価



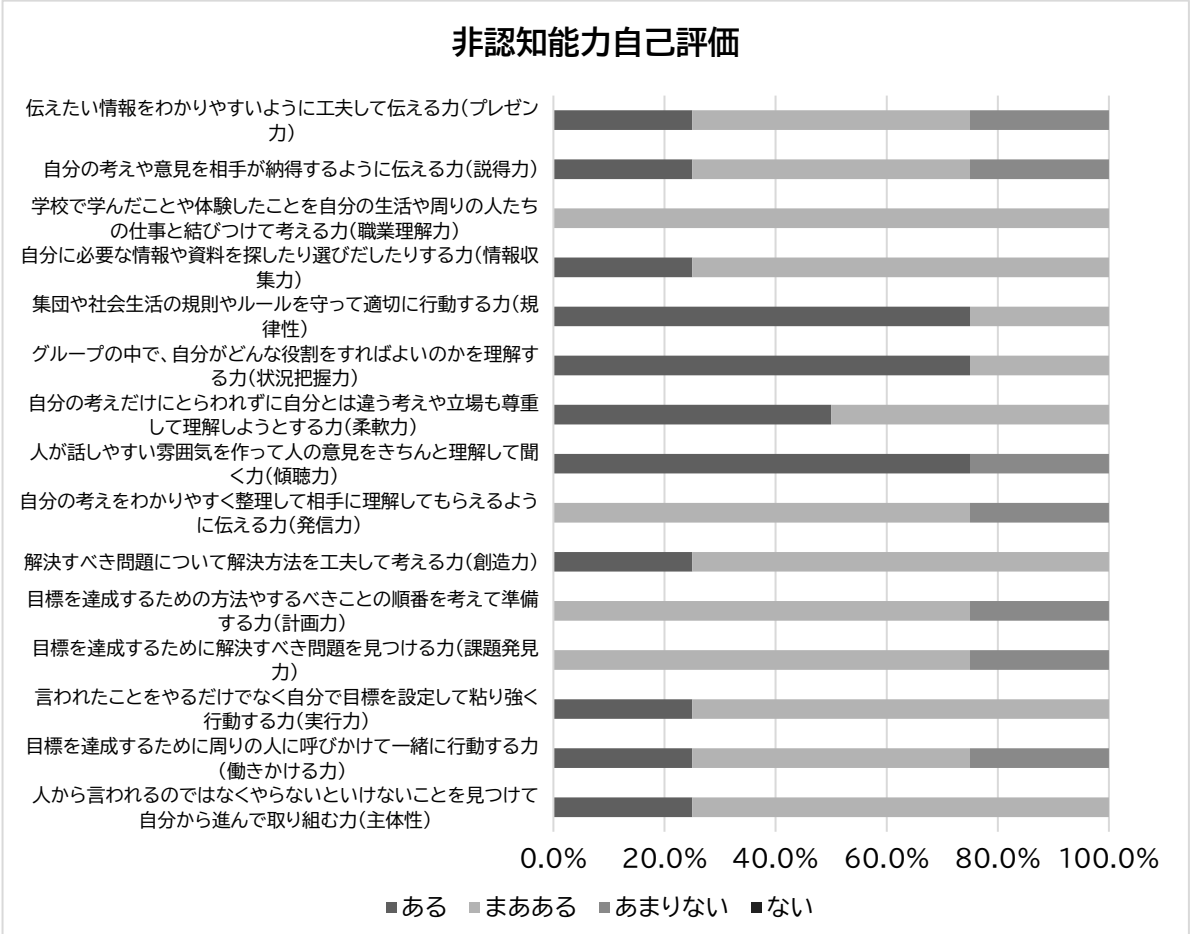
活動に対する評価



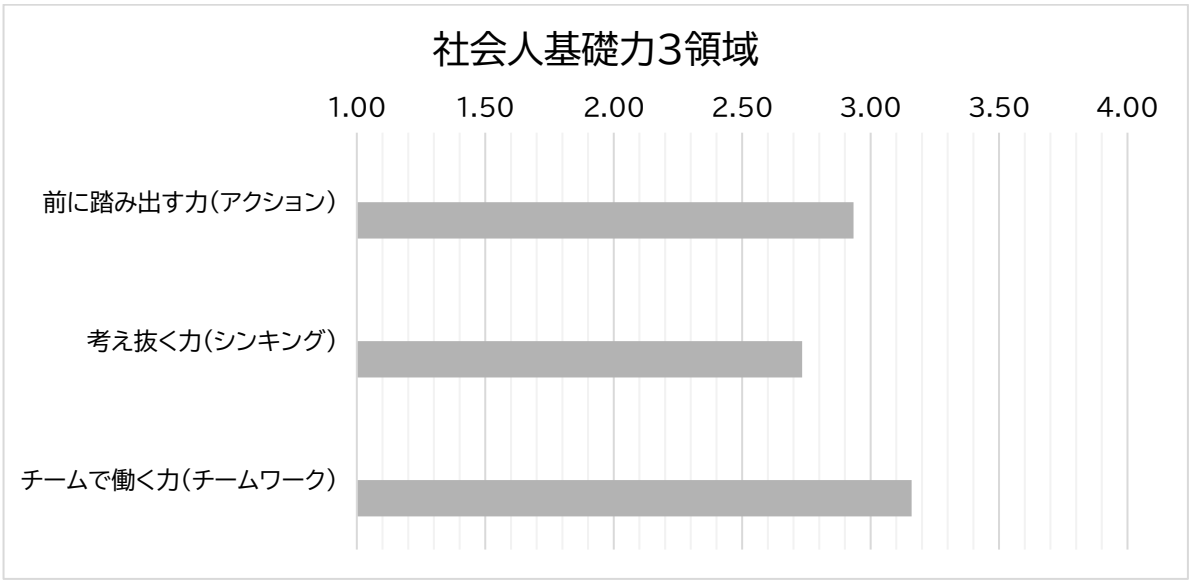
非認知能力自己評価（今回）



（前回）



非認知能力3領域評価（今回）



（前回）

